



環境大臣認定
エコ・ファースト企業



エコアクション21
認証番号 0013637



エコアクション21
環境経営レポート
2022

Environmental Management Report

対象期間：2023年4月1日～2023年3月31日
発行日：2023年5月2日

“Beloved Company”

有限会社 藤岡保険コンサルタント



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



代表挨拶

2022年2月から始まったウクライナとロシアとの戦争は、かつてない世界的なエネルギー問題としても、大きな影響を与えています。また、エネルギーの安定供給は、経済的な発展や社会の安定に直結します。そんな中、日本国内では「脱炭素」に向けた取り組みを実施する地方自治体や中小企業も増え始め、CO2 排出量を把握しカーボンニュートラルに向けた取り組みに対する意識も、徐々に広がってきました。

当社は、2022年7月に「エコアクション21」認証をはじめて取得しました。しかし、これは私たちにとって単なるスタートであり、サステナブルな地球環境を守るための取り組みは、まだまだ始まったばかりです。地元広島には、海・山・川に恵まれた素晴らしい自然と、牡蠣や穴子をはじめ瀬戸内海レモンやぶどうなど、たくさんのおいしい食材の名産地です。私も、この広島の地で生まれ育ち、今を生きる現役世代の一人として、これまで支えてくれた人々に「恩返し」をして、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現に、我々もしっかりと責任を果たしていく…それこそが、責任ある企業としての使命であり、本質であると思っています。

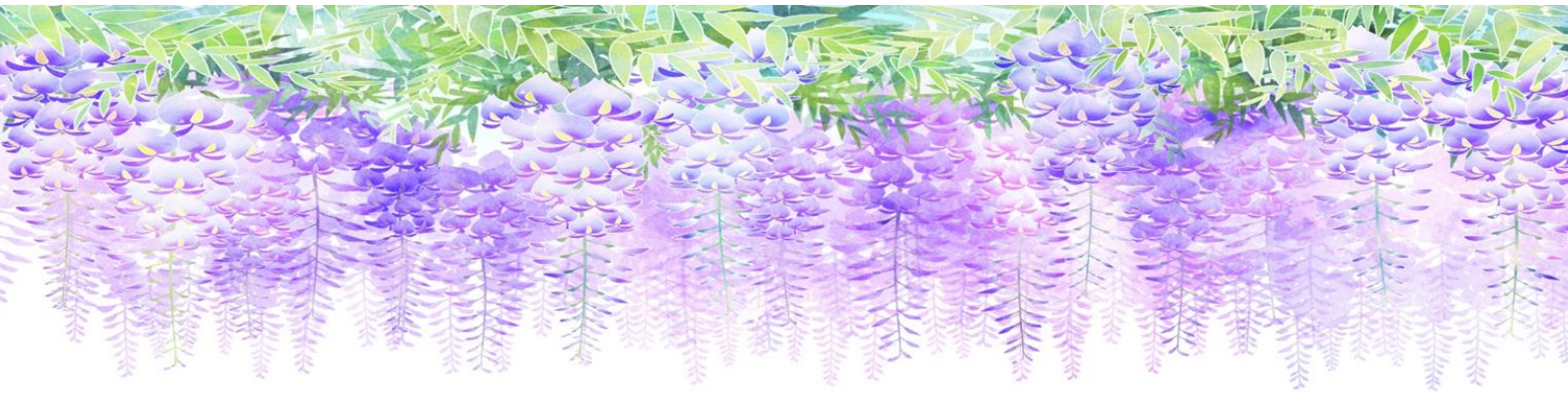
藤岡保険コンサルタントは、これからも業界をリードする環境先進企業として、「グリーン」×「デジタル」×「レジリエント」な未来に向けて、自ら掲げた『エコ・ファーストの約束』への取り組みを、着実に実践していきます。

それでは、「環境経営レポート 2022」をご報告させていただきます。



有限会社 藤岡保険コンサルタント

代表取締役社長 藤岡 徹也



支安願
元愛
らしい
花



(有)藤岡保険コンサルタント



CONTENTS

代表挨拶	P1	13. 環境への取り組み	P28
1. 会社概要(私たちの想い)	P4	①エコ・ファースト認定企業	P28
2. SDGs 宣言	P6	②東北震災復興ボランティア	P30
3. 環境経営方針	P7	③ひろしまエコ事業所	P31
4. サステナビリティ経営戦略	P8	④社員への環境教育	P31
5. 6つのマテリアリティとSDGs への貢献	P9	⑤再エネ100宣言 RE Action	P32
6. サステナビリティ推進体制ならびに責任と権限	P11	⑥グリーンボンド(ESG 投資)	P33
7. ESG経営の取り組み	P12	⑦海岸保全清掃活動	P33
8. 中期3カ年環境経営目標と長期計画	P15	⑧環境省「新国民運動」	P33
9. 2021年度 環境経営活動計画	P16	⑨災害から命を守る活動	P34
10. 2021年度 環境経営目標と実績・結果	P17	⑩お客様の「エコドライブ」をサポート	P35
11. 2021年度 活動報告と今後の取り組み	P18	⑪「みんな de グリーンイノベーション」 by 東京海上日動	P35
① 電力使用量の削減	P18	⑫ COOL CHOICE	P37
② ガソリン使用量の削減	P19	14. SDGsの取り組み	P39
③ 複合機印刷枚数の削減	P20	① 健康経営の取り組み	P39
④ 一般廃棄物排出量の削減	P21	② SDGs取り組みの情報発信	P40
⑤ 水使用量の削減	P22	③ 人づくり経営・人材育成	P41
⑥ エシカル消費の推進	P23	④ BCP 対策と情報セキュリティ	P42
⑦ デジタル革新(DX)の推進	P24	⑤ ガバナンス(企業統治)	P44
⑧ 「花」と「緑」で環境美化	P25	⑥おもてなしプロジェクト	P45
⑨ 地域コミュニティと社会貢献活動	P26	⑦ 新聞取材・雑誌掲載等	P46
12. 環境関連法規等の遵守状況と確認・結果	P27	15. 代表者による全体評価・見直し	P47
		16. 私たちが実現したい「みらいビジョン」	P48

1. 会社概要

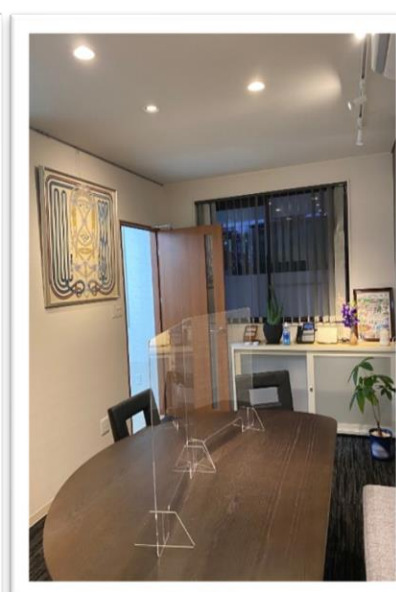
社 名 有限会社 藤岡保険コンサルタント
代 表 者 代表取締役社長 藤岡 徹也
環 境 責 任 者 専務取締役 藤岡 多嘉子
所 在 地 広島県広島市佐伯区利松2-12-10 (EA21 対象範囲)
連 絡 先 TEL : 082-928-8371 FAX : 082-928-2915
E-mail : hoken@fujioka-21.co.jp URL : hiiroshima-fp.com/
事 業 内 容 損害保険・生命保険代理業 (EA21 対象範囲)
取 扱 会 社 東京海上日動火災保険(株) メットライフ生命保険(株)
東京海上日動あんしん生命(株)
資 本 金 300万円
売 上 高 5,334万円(令和4年度)
従 業 員 6名(役員4名)



認定・認証(社内掲示)



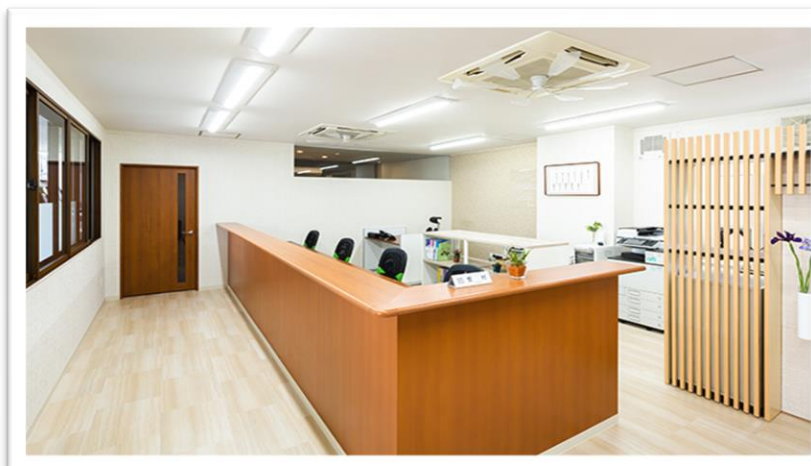
願い・安らぎ・支え愛



応接室の風景



オフィスの入口(外側)風景



オフィスの入口(内側)風景

私たちの想い（経営理念）

《Mission》経営理念

一人でも多くのお客様に上手な保険の入り方を伝えたい！

《Value》行動指針

我々は、「ありがとう」の感謝の心を、何よりも大切にいたします。

我々は、お客様のためなら、一切の妥協も遠慮もいたしません。

我々は、向上心を絶やさず、努力と挑戦を、これからも追及していきます。

我々は、地域に愛され存在し続けるために、地域社会に貢献していきます。

《Vision》将来理想

【Three generations】

三世代にわたってお任せ頂ける

地域 NO.1 の総合保険代理店を目指します。

2. SDGs 宣言



SDGs宣言

当社は、国連が提唱する「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」に賛同し、SDGsの達成に向けた取り組みを通じて、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現に貢献して参ります。



有限会社 藤岡保険コンサルタント

代表取締役社長 藤岡 徹也

2022年1月5日

～ SDGs達成に向けた取り組み ～

環境保全・気候変動対策

脱炭素社会の実現を目指し「エコアクション21」のガイドラインに則り、二酸化炭素の排出量削減や環境保全への貢献に取り組みます。



ダイバーシティ&インクルージョン

多様性を尊重し、お互いの考え方や個性を受け入れ、共に成長し合える、皆が笑顔で働きやすい職場環境の構築に努めます。



デジタル革新(DX)の推進

人と人とのつながりをデジタルが支える社会へと進化・成長させるため、デジタル革新(DX)を積極的に導入し、社員のやりがいとお客様への利便性向上を実現します。



健康経営の実践

心身ともに元気に働き続けられる「健康づくり」に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上に繋がります。



事業継続力強化対策(BCP)

保険事業に携わる企業として、大規模災害や感染症等の緊急事態に備えた「事業継続力強化計画(BCP)」を策定し、防災・減災への取り組みや災害レジリエンス強化に努めます。



3. 環境経営方針

【環境経営方針】

当社は、事業活動とSDGsへの取り組みを通じて、100年先のみらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会を実現するために、人と自然とが「共存共栄」できる地球環境保全に貢献することで、地域に愛され存在し続けられる“Beloved Company”（愛される会社）を目指します。



【環境行動指針】

- ① CO₂排出量の削減に向けた5つの項目（電力・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）における環境目標を設定し、継続的な実践と改善に取り組みます。



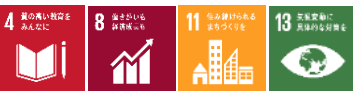
- ② 「鎮守の森のプロジェクト」などを通じて、お客様と共に防災・減災に繋がる地球環境保全に貢献していきます。



- ③ デジタル(DX)イノベーションの推進で、あらゆる業務の効率化とペーパーレス化を実現します。



- ④ 環境経営システムの構築と計画的な環境教育を実施し、環境保全に対する意識の浸透と向上に努めます。



- ⑤ 適用される環境関連法規等を遵守し、環境保全活動の情報は当社 HP や SNS 等を通じて公表します。



制定 2021年4月1日

有限会社 藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長 藤岡 徹也

4. サステナビリティ経営戦略

この度のサステナビリティ経営戦略の策定に際して、(A)当社が掲げてきた【**経営理念 (Mission)**】は今後も当社の不変的スローガンと位置付け、(B)【**2030年ビジョン**】の実現に向けた「グリーン×デジタル」成長戦略でさらなるシナジー効果を追求し、(C)その長期ビジョン達成に向けた【**中長期に実現すべき姿**】を定め、(D)デジタル活用3カ年計画と題して【**6つの成長戦略**】を立案しました。「新中期経営計画2024」では、「未来創造への挑戦」として3つのコアを中心に、これからのサステナブルな事業経営を支える基盤として、社員一丸となり取り組みを実践していきます。

A

経営理念 (Mission)

『一人でも多くのお客様に上手な保険の入り方を伝えたい！』

～お客様から最も選ばれる総合保険代理店を目指す～

B

新長期ビジョン (Vision 2030)

「グリーン×デジタル」社会の実現へ！

～我々の目指すべき 未来プロジェクト 2030～

グリーン社会の実現

デジタル社会の推進

C

長期ビジョンに向けて「中長期に実現すべき将来像」

SDGsが目指す
持続可能な社会への貢献

スモールビジネスで
No.1 クオリティを実現

道経一体(道徳と経済)
経営の精神

D

～デジタル活用3カ年計画～ 「6つの成長戦略」

LINE@によるお客様接点

マイページアプリ活用

新代理店システム TNEXT

らくらく手続きシリーズ

AIによるコンサルティング

損害サービスデジタルモデル

新中期経営計画 2024

Challenge to create the future ～未来創造への挑戦～

エコアクション21の取組
(GX)

人とデジタルの融合
(DX)

顧客体験価値の創造
(CX)

5. 6つのマテリアリティとSDGsへの貢献

暮らし 人と社会が「共存共栄」

- ・地域共生社会
- ・人と社会を支えるソリューション
- ・地球環境保全活動
- ・レジリエントなまちづくり



環境 「未来世代に繋げる」地球環境への貢献

- ・エコアクション21
- ・CO₂排出量削減
- ・資源の循環有効活用
- ・環境啓発森林海洋保全
- ・再生可能エネルギー



人 「人財」の育成・活躍

- ・D & I
- ・成長と挑戦
- ・イノベーション人材育成
- ・女性が美しく輝ける職場
- ・人権デューデリジェンス



DX 「デジタル革新」

- ・顧客体験価値(CX)の創造
- ・DX推進でお客様の利便性を向上
- ・DXで新しいビジネスモデルの展開
- ・ICT活用で社員のやりがいと生産性向上
- ・業務効率化とペーパーレス化を実現



健康 「健康で心豊かな生活」

- ・ウィズコロナ
- ・健康経営優良法人の認定
- ・健康管理アドバイザー
- ・ガン検診推進運動
- ・働き方改革
- ・ワークライフバランスの向上



ガバナンス 「健全な経営基盤」の確立

- ・企業統治
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント
- ・情報セキュリティ



サステナビリティ推進の全体フレーム



SDGs目標達成への貢献



6つのマテリアリティ(重要課題)

当社は、2021年にSDGsへの貢献に向けて、社会的に重要度が高いと考える「6つのマテリアリティ(重要課題)」を特定しました。また、各課題とSDGsとの関連性も整理し、当社が掲げる2030ビジョン達成と持続可能な社会の実現に向けて、我々が優先的に取り組むべき重要な課題として位置付けていきます。



人と社会が「共存共栄」できる 安心・安全な暮らしを実現

- ▶ 地域共生社会の推進
- ▶ 人と社会を支えるソリューション(解決策)を創出
- ▶ 地球環境保全への貢献
- ▶ 防災・減災や災害レジリエント強化



「未来世代に繋なげる」 地球環境負荷低減への貢献

- ▶ エコアクション21
- ▶ CO₂排出量の削減
(電力/廃棄物/水/ガソリン/紙の使用量削減)
- ▶ 資源の循環・有効活用
- ▶ 環境啓発・森林・海洋保全活動への貢献
- ▶ エコカー・再生可能エネルギーの導入



企業を支える 「人財」の育成・活躍の促進

- ▶ ダイバーシティ(多様性)&インクルージョンの推進
- ▶ 誰もが成長し挑戦できる企業風土づくり
- ▶ イノベーション(革新)を生み出す人材育成
- ▶ 女性が健康で美しく輝ける職場環境の構築
- ▶ 人権を尊重する経営(人権デューデリジェンス)



「デジタル革新(DX)」で 顧客体験価値と生産性向上

- ▶ 顧客体験価値(CX)を創造
- ▶ DX推進でお客様の利便性を向上
- ▶ デジタル革新による新しいビジネスモデルを展開
- ▶ ICT活用で社員のやりがいと生産性向上
- ▶ 業務効率化とペーパーレス化を実現



すべての人々に 「健康で心豊かな生活」を提供

- ▶ ウイズコロナと持続可能な経営の両立
- ▶ 健康経営優良法人の認定取得
- ▶ 健康管理・医療・介護に関するアドバイザー
- ▶ 健康診断・ガン検診の推進運動
- ▶ 働き方改革とワークライフバランスの向上

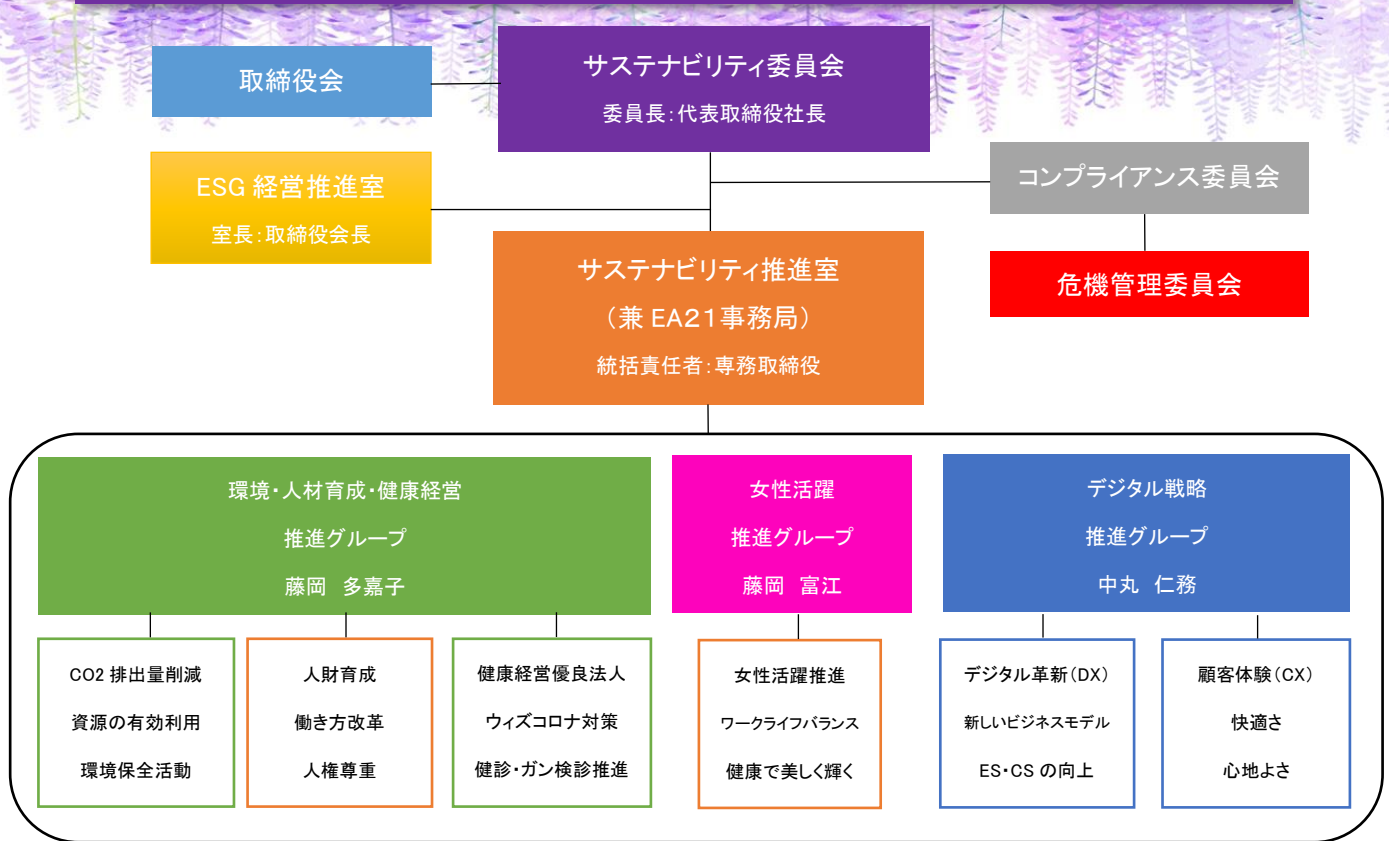


ガバナンスの強化で 「健全な経営基盤」を確立

- ▶ ガバナンス(企業統治)体制の強化
- ▶ コンプライアンス
- ▶ リスクマネジメント
- ▶ 情報セキュリティ(個人情報管理・サイバー対策)
- ▶ マネーロンダリングや不正請求防止



6. サステナビリティ推進体制ならびに責任と権限



● 代表取締役社長 藤岡 徹也

(サステナビリティ委員会 委員長)

(コンプライアンス委員長)

(危機管理委員長)

▶ SDGs 企画推進統括

▶ 環境経営レポートの策定・編集・評価

▶ ESG 経営の運営責任

▶ コンプライアンス推進統括責任者

▶ 事業継続力強化計画(BCP)の策定

▶ COOL CHOICE 統括責任

▶ 地域コミュニティと社会貢献(KP)

▶ エコ・ファースト統括責任者

● 専務取締役 藤岡 多嘉子

(サステナビリティ推進室 責任者)

(兼エコアクション21 事務局)

(環境・人材育成・健康経営推進リーダー)

▶ EA21 取り組みの統括と KP 任命

▶ 環境経営全体の集計・点検・見直し

▶ EA21ミーティングの計画と実施

▶ 一般廃棄物排出量の削減(KP)

▶ エシカル消費の推進(KP)

▶ エコ・ファースト担当窓口

● 課長 中丸 仁務

(デジタル戦略推進リーダー)

▶ (2)ガソリン使用量の削減(KP)

▶ (3)複合機印刷枚数の削減(KP)

▶ (7)デジタル革新(DX)の推進(KP)

● スタッフ 川本 伸子

▶ (1)電力使用量の削減(KP)

▶ (5)水使用量の削減(KP)

▶ (9)地域コミュニティと社会貢献(SUB)

● マネージャー 藤岡 富江

(女性活躍推進リーダー)

▶ (6)エシカル消費の推進(SUB)

▶ (8)「花」と「緑」で環境美化(SUB)

● 取締役会長 藤岡 忠

(ESG 経営推進室 室長)

▶ (8)「花」と「緑」で環境美化(KP)

▶ (9)地域コミュニティと社会貢献(SUB)

7. ESG 経営の取り組み

(E) 環境 Environment

【エコアクション21と環境負荷の低減への取り組み】

(1)CO₂排出量の削減（電気・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）！

①「電力使用量の削減」



- ・早朝、昼休み、残業時での不要な照明の消灯に努める
- ・照明の LED化・二重サッシで省エネ対策を実施する
- ・外出時や昼休み等の離席の際は、PC の画面を閉じて省エネモードに
- ・冷暖房(エアコン)を適切な温度設定で使用する
- ・クールビズ・ウォームビズの推進



②「一般廃棄物削減およびリサイクル推進」



- ・分別方法の徹底(可燃ごみ/リサイクルプラ/ペットボトル/資源ごみ等)
- ・廃棄物の測定と集計報告
- ・紙類、段ボールのリサイクル徹底
- ・ハンカチ、MY 箸、MY スプーンの持参
- ・事務用品の在庫管理を徹底



③「ガソリン燃料の削減」



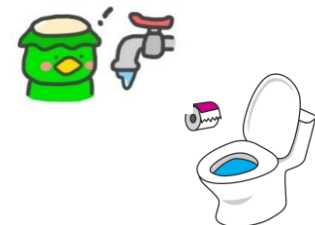
- ・安全運転(急発進/急停車をしない等)でルートの効率よいエコドライブの実施
- ・車内冷暖房の不必要時は OFF にする
- ・タイヤ空気圧や不要な荷物の積載チェック
- ・オンライン面談(ZOOM 等)の活用で車使用頻度を抑える



④「水使用量の削減」



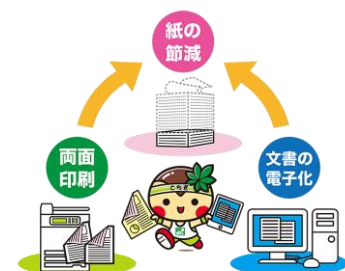
- ・定期的(毎月)に水道使用量を点検
- ・節水の注意喚起掲示
- ・トイレの流すボタンを「ECO 小」で使用
- ・洗車用のホースにストップノズルを取り付ける
- ・台所を常にきれいに心がける



⑤「紙の削減」



- ・コピー使用量の削減徹底(両面・縮小コピーの活用促進)
- ・コピー裏紙を再利用
- ・デジタル(電子化)推進によるペーパーレス化
- ・不要な会社からの FAX の配信停止



(S) 社会 Social

【地域社会への取り組み】

(1)地域共生社会への貢献

「人と社会が共存共栄」

- ・我々は「愛ありがとう」の精神で、人と社会が支え合えるコミュニティづくりと発展に貢献します。
- ・これかも地域に愛され存在し続けるために、人・社会・環境と地域社会に貢献していきます。



【社員に対する取り組み】

(2)社員が働きやすい環境づくり

「働き方改革の推進」

- ・従来の仕事にとらわれない、新しい働き方を積極的に推進しています。
- ・デジタル化(DX)によるイノベーションで、業務プロセスの徹底した生産性向上に努めています。
- ・長時間労働や残業に対しては、常態化しないよう会社一体で注意喚起を促しています。
- ・ハラスメント等に関する問題が生じた場合は、迅速かつ敏感に対処し徹底した改善を図っています。



「人材育成」

- ・「昨日よりは少しでも成長できた！」と実感できる企業風土づくりを目指しています。
- ・時にはお互いが愛情をもって厳しさを伝え合える信頼関係の構築に努めています。

「女性の活躍推進」

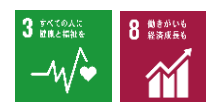
- ・女性が健康で美しく輝ける職場環境と構築を目指しています。
- ・子育てや親の介護でも仕事を続けていける仕組みづくりに努めています。

【健康経営への取り組み】

(3)幸せ！「健康経営宣言」

「健康経営優良法人2023」認定

- ・2023年3月に「健康優良法人2023(中小規模法人部門)」の認定を取得しました。



「定期健診の実施」

- ・定期健診はもちろんのこと、がん検診の定期的な受診を促しました。
- ・年1回の歯科検診(歯石除去)受診を推奨するため、会社にて治療費の補助を行っています。

「コロナ感染症対策」

- ・お客様ならびに社員とご家族の安全を最優先とした、自治体の指導に基づく感染対策を徹底しています。
- ・毎朝全員の体温を入口に掲示、手洗い消毒、マスク着用、換気、除菌等を徹底しました。
- ・ワクチン希望者には接種休暇の取得を促進します(原則2日間)。

「メンタルヘルス不調の防止」

- ・社員の「こころの健康」を大切に、メンタルヘルスの予防および早期発見ができるよう働きかけています。

(G) 企業統治 Governance

【ガバナンスの取り組み】

(1)コンプライアンスの遵守



「コンプライアンスの徹底」

当社は、法令・企業倫理を遵守し企業の社会的責任を果たしていくため、保険代理店としてあらゆる事業活動の局面においてもお客様からの「信頼」を第一に、コンプライアンス遵守の徹底に努めています。

「マニュアルの策定・研修の実施」

- ・当社は、コンプライアンスを徹底するための「行動規範」や「各種方針・社内規定」を定めたコンプライアンス・マニュアルを策定しています。
- ・社内での周知・定着を図るため、毎月1回コンプライアンス研修を実施しています。

「コンプライアンス体制」

- ・コンプライアンスや法令違反に関する対応を審議・検討を行っています。
- ・最高責任者に代表取締役を配置した「コンプライアンス委員会」を設置しています。

(2)情報セキュリティ・サイバーセキュリティ対策



「情報セキュリティ」

- ・当社は、情報セキュリティに関わる意識や取り組みを、組織内に徹底しています
- ・情報セキュリティに「事故は起こるもの」との前提に立ち、対策の自律的・継続的な推進を図っています。

「サイバーセキュリティ」

- ・サイバーセキュリティ対策として、提携する外部業者(RICOH)と連携し、不正アクセスやウイルス等の検知・防御の仕組みを複合的に組み合わせ、随時対策を行っています。

(3)情報開示



「情報開示の基本方針」

- ・当社は、お客様に対する公平かつ重要とされる情報を適時・適切に情報を開示します。
- ・情報開示方法は、ホームページにて公表します。

(4)リスク・危機管理



「リスク管理」

- ・当社が抱える様々な各種リスクの影響を事前に洗い出し、これらのリスクをできるだけ低減するための対応策を検討し、経営の健全性に繋げています。
- ・リスクの発見時には、迅速かつ適切な対応がとれる危機管理体制を構築しています。

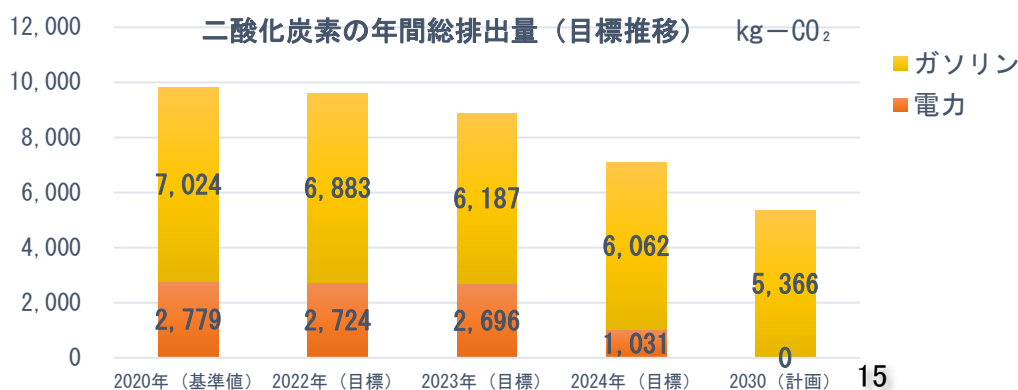
「事業継続力強化」

- ・危機発生時(大規模災害/パンデミック等)でも業務が継続できるための「事業継続力強化計画(BCP)」の策定・運用・見直しを実施しています。

8. 中期3カ年環境経営目標と長期計画

《期間2022年度～2024年度》

区分	環境経営目標	単位	基準値		中期環境経営目標			長期計画	
			2020年度 (基準年度)	【2022年度】 (目標)	【2023年度】 (目標)	【2024年度】 (目標)	【2030年度】 (Vision)		
	二酸化炭素の排出量 (①電力・②ガソリン)	kg-CO ₂	9,803	9,607 (2.0%削減)	8,883 (9.3%削減)	7,093 (27.6%削減)		5,366 (45.2%削減)	
電力	電力使用量の削減 「中国電力株式会社」 R2調整後排出係数を使用	kwh	5,335	5,228	5,175	中国電力(購入) 1,979	太陽光発電(自家消費) 4,617	グリーン電力(購入) 1,979	太陽光発電(自家消費) 6,417
		排出係数	0.521	0.521	0.521	0.521	0	0	0
		kg-CO ₂	2,779	2,724 (2%削減)	2,696 (3%削減)	1,031 (62.9%削減)		0 (100%削減)	
ガソリン	ガソリン使用量の削減	L	3,028	2,967	2,667	2,613		2,313	
		排出係数	2.32	2.32	2.32	2.32		2.32	
		kg-CO ₂	7,024	6,883 (2%削減)	6,187 (11.9%削減)	6,062 (13.6%削減)		5,366 (30%削減)	
コピー用紙	複合機印刷枚数の削減	枚	18,362	17,443 (5%削減)	14,689 (20%削減)	12,853 (40%削減)		9,181 (50%削減)	
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	240	232 (3%削減)	120 (50%削減)	96 (60%削減)		72 (70%削減)	
水	水使用量の削減	m ³	53	52 (2%削減)	51 (3.0%削減)	51 (3%削減)		50 (5%削減)	
エシカル消費	グリーン商品購入の推進	%	30.0	60.0 (200%向上)	70.0 (233%向上)	80.0 (266%向上)		100.0 (333%向上)	
デジタル推進	デジタル手続き率 (東京海上日動)	%	47.3	54.3 (115%向上)	70.9 (150%向上)	82.7 (175%向上)		94.6 (200%向上)	
	Web証券率 (東京海上日動)	%	58.3	64.1 (110%向上)	78.7 (135%向上)	81.6 (140%向上)		87.4 (150%向上)	



9. 2022年度 環境経営活動計画

《期間2022年4月～2023年3月》

環境経営目標	活動計画	担当
電力使用量の削減 	① 不要な照明消灯で節電 ③ 離席時は PC 画面を閉じる ⑤ クールビズ・ウォームビズの推進 ② 省エネ設備にリニューアル ④ エアコンを適切な温度設定で使用	川本
ガソリン使用量の削減 	① 安全運転(無事故・無違反) ③ リモートを活用して車の使用頻度を削減 ② ECOドライブ10のすすめ ④ EV 車の導入	中丸
複合機印刷枚数の削減 	① 「両面2in1」印刷で無駄を削減 ③ デジタル申込手続きでペーパーレス ② 裏紙は「メモ用紙」等に ④ 電子マニュアルの活用推進	中丸
一般廃棄物排出量の削減 	① ごみの分別種類を正しく理解 ③ 帳票(パンフ・チラシ類)の過剰請求に注意 ② 各自のごみ箱を撤去 ④ MY 箸・MY スプーンを持参	専務
水使用量の削減 	① 節水アクションで省エネ(節電) ③ 食器はまとめて・油污れは付け洗いで節水 ⑤ ストップノズルに付替えて節水 ② トイレは「きれい」に！洗浄は「ECO 小」で節水 ④ シンクを「ピカピカ」にして節水	川本
エシカル消費の推進 	① エシカル消費への理解を深める ③ 「てまえどり」で食品ロスに貢献 ⑤ オーガニックと地産地消でエシカル消費 ② 認証ラベル付きの商品を選択！ ④ 消耗品はグリーン購入で！	専務
デジタル(DX)の推進 	① デジタルで「働きがい」と「生産性」を高める ③ WEB 証券化率(専業)全国1位を目指す ② オンライン面談(ZOOM)の導入	中丸
「花」と「緑」の環境美化 	① 「グリーンアメニティ効果」で生産性向上 ③ 「ごみステーション」の場所を無償提供 ② 花壇に草花を植えて周辺地域を環境美化	会長
社会貢献活動 	① 障害者施設への資源ごみ提供 ③ 鎮守の森のプロジェクトへの支援活動 ② 清掃(ゴミ拾い)活動！ ④ その他(2021年度:個人活動)	社長



10. 2022年度 環境経営目標と実績・結果

《期間2022年4月～2023年3月》

区分	環境取組項目	単位	基準値	目標値	実績値	結果	達成率 (目標値比)
			【2020年度】 (基準年度)	【2022年度】 (目標)	【2022年度】 (実績)	○/×	
	二酸化炭素の排出量 (①電力・②ガソリン)	kg-CO ₂	9,803	9,607	9,540	○	(100.7%)
 電力	電力使用量の削減 <small>「中国電力株式会社」 R2 調整後排出係数を使用</small>	kwh	5,335	5,228	4,797	○	(108.9%)
		排出係数	0.521	0.521	0.521		
		kg-CO ₂	2,779	2,724	2,499		
 ガソリン	ガソリン使用量の削減	L	3,028	2,967	3,035	×	(97.7%)
		排出係数	2.32	2.32	2.32		
		kg-CO ₂	7,024	6,883	7,041		
 コピー用紙	複合機印刷枚数の削減	枚	18,362	17,443	12,053	○	(144.7%)
 廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	240	232	96	◎	(241.6%)
 水	水使用量の削減	m ³	53	52	51	○	(101.9%)
 エシカル消費	グリーン商品購入の推進	%	30.0	60.0	50.0	×	(83.3%)
 デジタル推進	デジタル手続き率 (東京海上日動)	%	47.3	54.3	84.6	◎	(155.8%)
	Web 証券 (東京海上日動)	%	58.3	64.1	76.1	○	(118.7%)

～2022年度「課題と目標計画」～

昨年度電力使用量が目標値よりも増加した結果をふまえ、2022年度は電力使用量の削減目標の達成を必達とするための対策を徹底するため、四半期毎(7月・10月・1月・4月)に、社員全体で各項目の取組進捗状況の確認を実施するルールを定めた。また、昨年度のコロナ感染によるお客様との接点不足を補うため、オンライン面談での対応を強化し、デジタル手続き率の向上を図ることとした。

～2022年度「取組実績と評価」～

電力使用量削減のため、エアコンの稼働期間や時間について、必要最低限範囲で稼働するよう徹底を実施した結果、目標値を達成した。その他、一般廃棄物や印刷物も、社員一人一人が環境への高い意識で取り組みを継続したおかげで、大幅に減少することができた。一方で、ガソリン使用量は、アフターコロナの影響もあり、営業活動による車の使用頻度が昨年度と比べ増加した影響で、目標達成とはいかなかった。

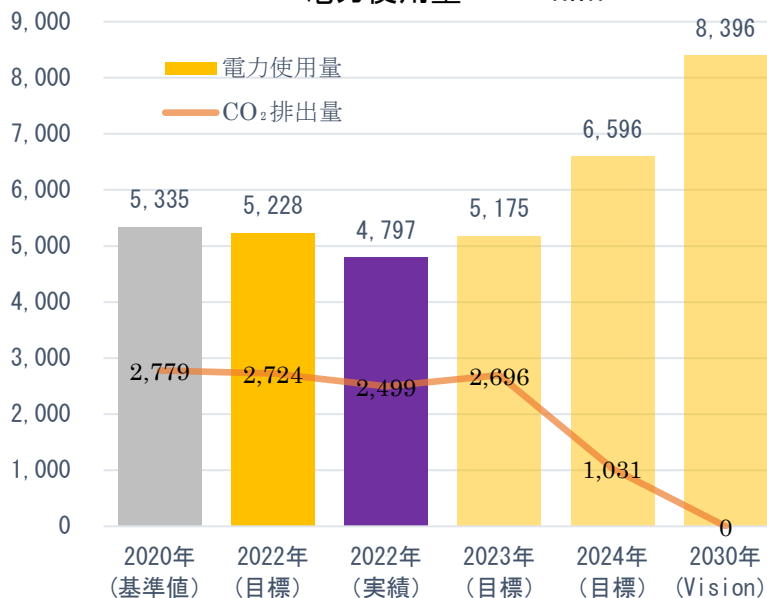
11. 2022年度 活動報告と今後の取り組み



(1) 電力使用量の削減



電力使用量 kwh



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ

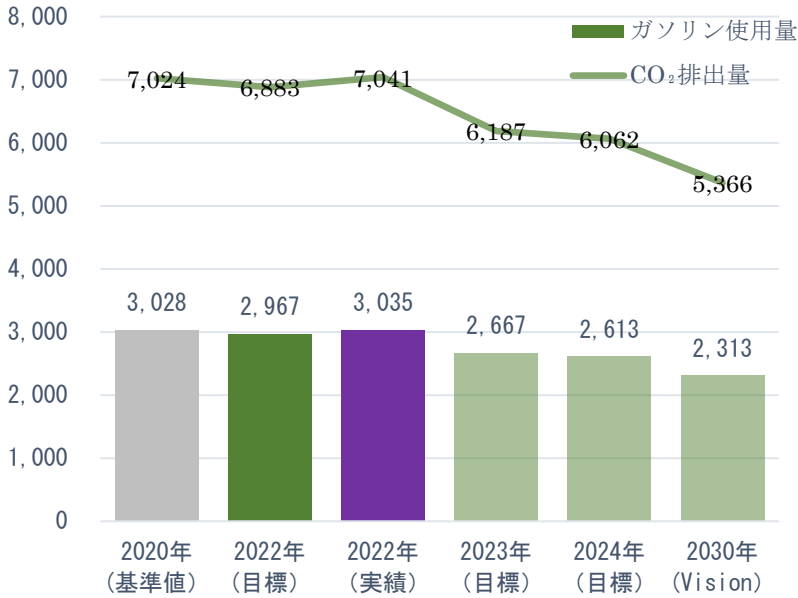


取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 不要な照明消灯で節電！	○	始業時間前(9時)・終了後(18時)の時間帯は、入口の照明を消灯。昼食時は、全ての照明を消灯し徹底した照明節電に努めました。
② 人感センサー付き照明に切り替え！	○	照明消し忘れ防止の対策として、トイレと倉庫の照明を人感センサー付LED照明に切り替えました。
③ 離席時はPC画面を閉じる！	○	以前は離席の際でもPCが閉じられていないケースが目立っていましたが、少しずつ意識が浸透しました。個人情報管理の点からも、個々意識をもっと高め取り組みを継続していきます。
④ エアコン稼働時間の管理を徹底！	○	コロナで常時換気を徹底しながらの取り組みとなり、環境省が推奨する室温基準同等設定とはいきませんでした。稼働期間や使用時間をできるだけ抑える努力を継続しました。
⑤ クールビズ・ウォームビズの推進！	○	当社は、約15年前よりクールビズを積極的に導入しています。今では過ごしやすい服装の企業風土が浸透しており、全員が働きやすく過ごしやすい服装を工夫して省エネに繋げています。

(2) ガソリン使用量の削減



ガソリン使用量 L



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ

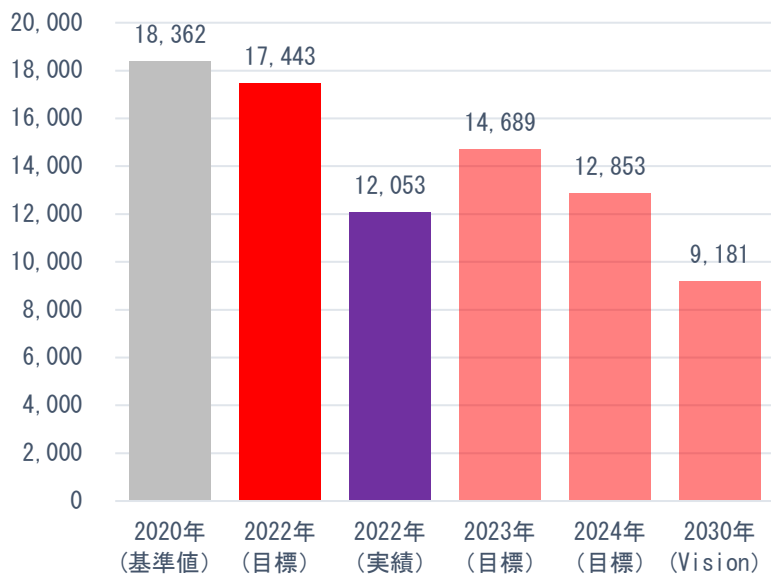


取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①安全運転意識向上の取り組み！ (トライ・ザ・セーフティ in ひろしま)	×	広島県交通安全協会主催の「トライ・ザ・セーフティ in ひろしま」(150日間の無事故・無違反をチーム5人でチャレンジ)に、今年度も社員全員(実費)で参加しました(チーム名: 藤の花)。しかし、期間中に違反者が1名(一時停止違反)発生する残念な結果となりました。
②「ECOドライブ10のすすめ」の実践！	○	今年度も8月会議にて環境省が推奨する「ECOドライブ10のすすめ」の勉強会を実施し(環境省: 動画視聴)、環境にやさしい ECOドライブへの理解と実践を心がけるよう社員全員に促しました。
③オンライン面談で車の使用頻度を抑制！	○	2022年度は、リモートを活用した(ZOOM)ミーティングや商談を積極的に実施して、結果的に車の使用頻度を減らしてガソリン使用量の削減できました。
④EV車(電気自動車)を導入！	○	2022年11月には環境に配慮したEV車(1台)をはじめて導入しました。今後は、社有車を順次EV車に切り替えて、太陽光発電設備(ソーラーカーポート)設置と合わせ、EV車+再エネ100%による「ゼロ・カーボン・ドライブ」の実現を目指します。

(3) 複合機印刷枚数の削減



複合機印刷枚数 枚



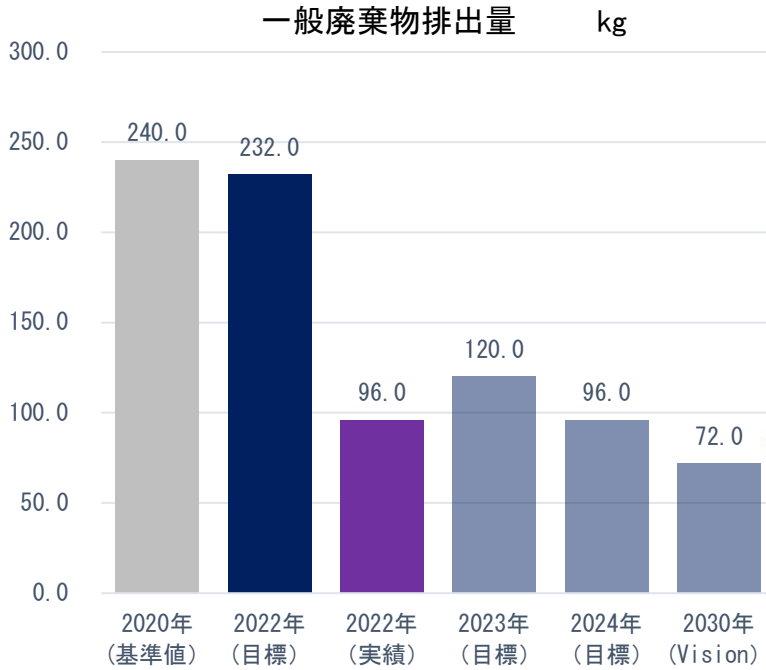
環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①「両面・2in1」印刷で無駄を削減！	○	当社の PC 端末には、集約印刷(両面・2in1)をあらかじめ統一設定しており、無駄なコピー用紙の使用削減に徹底して努めました。
②裏紙は「メモ用紙」として再利用！	○	片面使用済み用紙は専用ボックスに集めて印刷用として再利用しています。裏紙は「メモ用紙」として無駄なく活用しています。
③デジタル手続き率アップで印刷枚数を削減！	○	当社は、お客様との保険申込手続きを、紙を使用しないデジタル端末(PC・タブレット端末)による完全ペーパーレス手続きを積極的に活用。ペーパーレス手続きを推進して、印刷枚数の削減に貢献しました。
④電子マニュアルの活用推進！	○	各種マニュアル(冊子)を棚から全て撤廃し、電子マニュアルの活用を推進しています。

(4) 一般廃棄物排出量の削減



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



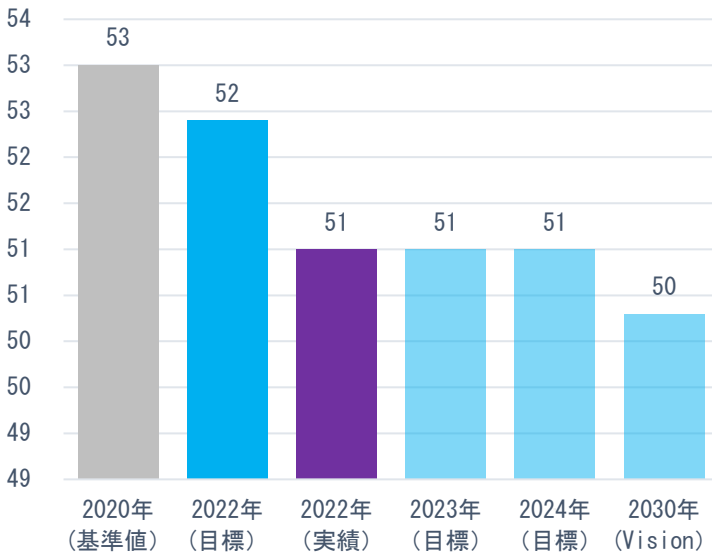
取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①ごみの分別種類を正しく理解！	○	まずは、社内で基本的なゴミの分別種類を正しく理解するための勉強会を実施しました。 特にゴミの出し方については、これまでの理解が不十分であったことに気付いたり、その後の取り組み意識のモチベーションに非常に繋がりました。
②各自のごみ箱を撤去！	○	これまで各自デスクの足元に置いていた専用ごみ箱を撤去して、「可燃ごみ」と「リサイクルプラ」2つのコンパクトなごみ箱を、新たに社員共有用として設置しました。 その結果、それまで当たり前にごみ箱に廃棄していたゴミの量が、廃棄する度に離席する事が功を奏して、見事に削減する事に繋がりました。
③帳票(パンフ・チラシ類)の過剰請求に注意！	○	昨年度は、保険会社からの取り寄せる帳票が過剰請求となり、未使用のまま廃棄されるケースが目立ちましたが、今年度は安易な帳票の過剰請求防止と、在庫管理の徹底に努めました。



(5) 水使用量の削減



水使用量 m³



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
Cool choice 君野イマ

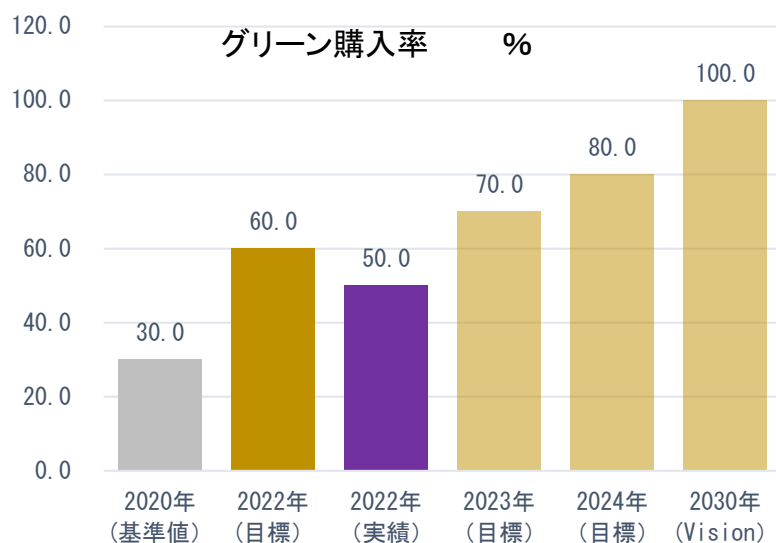
環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
Cool choice 君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 節水アクションの徹底！	○	昨年度は、水使用量削減の取り組みルールがはっきりと定まっていなかったが、水の出っぱなしをしないよう、意識付けを徹底しました。
② トイレは「きれい」に洗浄は「ECO 小」で節水！	○	トイレはいつも「きれいに」、水を流す際は「ECO 小」を使用するよう、あらためてトイレの節水を社内ですべて徹底しました。また、水は2度流しをしない、掃除の時は洗剤を使いすぎない、ウォシュレット温水は冬季限定、トイレトーパーは最小限使用するなど、できることは意識するよう努めています。
③ 蛇口レバーは冷水位置に戻して省エネ！	×	食器は出来るだけまとめて洗いで節水に努めましたが、蛇口レバーは1番右(冷水)に戻すことで温水(ガス)の使用はできるだけ抑えるよう心がけ節水・省エネに取り組みましたが徹底が、徹底が不十分でした。



(6) エシカル消費の推進



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ

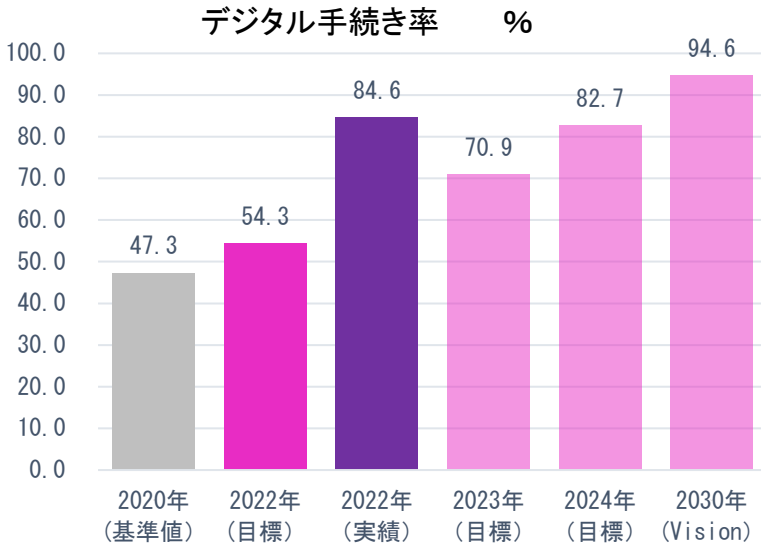
評価



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① エシカル消費への理解を深める！	○	これからの時代「安い」「便利」というだけで商品を選択するのではなく、私達自身が人・社会・環境に配慮した「エシカル消費」についての理解をもっと深め、取り組みへの周知と行動を広げていく事が、今後の課題であると考えています。
② 認証ラベル付きの商品を選択！	△	エシカル商品を見分ける目安として、認証ラベル付きの商品を優先的に選ぶようにはしていますが、災害用品等はエシカル商品が少なく通常の商品を購入。もっと時間をかけて探してみる必要があった。
③ サステナブルファッションの推奨！	○	服装については、全社員に向けてクールビズ・ウォームビズをはじめ、地球環境や関わる人、社会にも配慮したサステナブルファッションを意識した消費行動への実践にも、積極的に推奨しています。
④ 消耗品はグリーン購入で！	×	当社は、事務用品(ボールペン・封筒類・コピー用紙等)や、日用品(トイレットペーパー・洗剤等)などの消耗品を、2030年までにグリーン購入率100%を目指していますが、コスト面にて一部通常の商品を選択してしまった。
⑤ オーガニックと地産地消でエシカル消費！	○	来客者用ウェルカムドリンクを「オーガニック・コーヒー」でご提供しています(有機栽培・無農薬)。 その他、販促ノベルティとして、地元で採れた新鮮なお野菜をお客様に差し上げています(地産地消)。



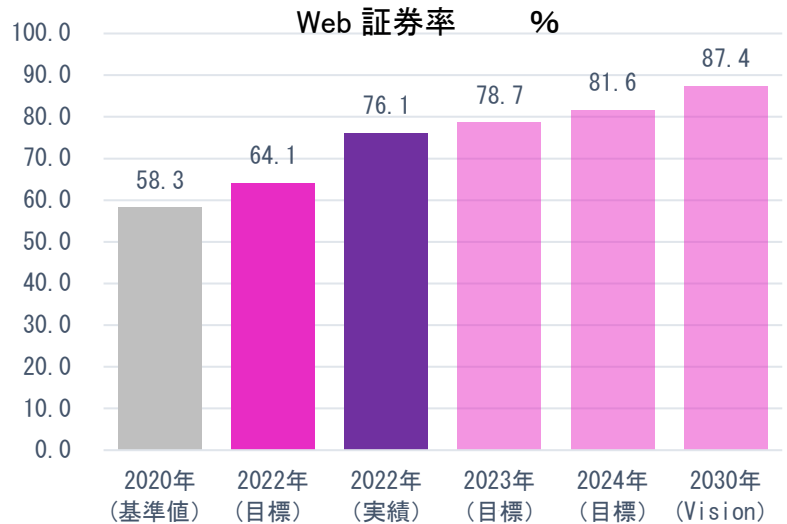
(7) デジタル革新(DX)の推進



環境省COOL CHOICE MOE 萌えキャラクター 君野ミライ



環境省COOL CHOICE MOE 萌えキャラクター 君野イマ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①オンライン面談(ZOOM)の導入!	○	今年度は、オンライン面談の取り扱いを積極的に導入しました。2023年度は、さらにリモートを活用した新しいお客様との接点をさら強化し、競合他社との差別化を強力に推進していきます。
②WEB証券率の全国1位を達成! (東京海上日動)	○	2022年度 WEB 証券率(東京海上日動: 専業)において、全国第1位を達成し、紙資源の大幅な削減に貢献しました。超保険20周年記念コンテスト(ペーパーレス手続き)も全国1位を達成。

(8)「花」と「緑」で環境美化



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



事務所から見える桜



駐車場に咲く藤の花

取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①「グリーンアメニティ」効果で生産性向上！	○	心理的なリラックス効果や疲労感の緩和をはじめ、空気浄化効果、温熱環境調整効果など、当社では快適な空間を演出することを目的に、オフィスのインテリアに季節のお花や緑を取り入れて、「植物による癒し効果」で社員の生産性を高めています。
②花壇に草花を植えて周辺地域を環境美化！	○	花壇や玄関前に草花を植えて、周辺地域の環境美化に貢献しています。



グリーンアメニティ効果で
周辺地域と職場に「安らぎ」を..



Fujioka



(9) 地域コミュニティと社会貢献活動



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



海岸保全清掃活動(みどりの浜公園)



毎月2回「障害者就労支援施設」へ資源ごみを提供しています



町内会の皆さんにもご協力を頂いています

取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 障害者就労支援施設に資源ごみを提供！	○	毎月第1・3水曜日には、町内会の方々と協力して、近くの障害者就労支援施設(むぎの家)へ資源ごみ(段ボール・新聞紙・雑誌類・空き缶)を提供し、地域コミュニティ活性化と社会貢献活動に取り組んでいます。
② 清掃(ごみ拾い)活動！	○	会社周辺はいつも綺麗にするよう心がけています。また、地元の海を大切にするために、海沿い近く(みずとりの公園付近)の清掃活動を実施しました。
③ 「ごみステーション」の場所を無償提供！	○	当社は、約10年前に駐車場スペースの一部を地域町内会に無償で提供し、景観美化に協力しています。また、ごみステーションは、町内会で資金を募り地域の皆さんと手作りました。

12. 環境関連法規等の遵守状況と確認・結果

【該当する主な環境関連法規】

適用される法規制	適用される対象品目	対応事項	確認内容	結果	確認日
廃棄物処理法	◇一般廃棄物	委託事業者の点検	委託：富士企業 ISO14001 取得事業者	○	R5.3.31
		委託契約書の保管	専用ファイルに保管	○	R5.3.31
		一般廃棄物の適正処理	分別・ゴミ袋適正に処理	○	R5.3.31
フロン排出抑制法	◇第1種特定空調設備(2台)	簡易点検実施(四半期毎)	簡易点検記録簿に記載	○	R4.4.7
			なお、廃棄する際は充填回収登録を受けた事業者回収依頼書をつけて機器を引き渡し、後日引取証明書をもらわないといけない(法41条)	○	R4.7.5
				○	R4.10.18
		簡易点検記録簿	記録記載・保管状況	○	R5.3.31
家電リサイクル法	◇冷蔵庫 ◇液晶テレビ ◇エアコン(家庭用)	適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理	対象家電廃棄の有無 2022年度：無	○	R5.3.31
			回収業者の確認	—	—
小型家電リサイクル法	◇PC 端末 ◇タブレット端末 ◇電話機 ◇携帯電話 ◇掃除機 ◇電子レンジ ◇扇風機 ◇体重計 ◇空気清浄機等	適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理	対象小型家電廃棄の有無 2022年度：有 ・ノートPC4台(排出)	○	R5.3.31
			回収業者の確認	○	R5.3.31
自動車リサイクル法	◇社有車	適正な引取業者への引渡し	廃車・譲渡(売却)の有無 2022年度：有 ・レクサス RX(譲渡)	○	R5.3.31
			引取業者の確認	○	R5.3.31
消防法	◇火災設備(消火器)	設置場所・使用期限の点検	設置場所：事務所 使用期限：2032年まで	○	R5.3.31
グリーン購入法	◇環境省：特定調達品目(参照)	環境物品等の調達(購入)	環境物品調達状況の確認	○	R5.3.31

当社に適用される環境関連法規制等を確認・評価した結果、適正に遵守されており、関係当局からの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。また、法令変更等の有無についての確認も定期的に行いました。

13. 環境への取り組み

①エコ・ファースト認定企業



■環境大臣認定「エコ・ファースト企業」

【小規模事業者としては全国初】

当社は、環境の分野において、その取組が先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動を行っている企業（業界における環境先進企業）であることを環境大臣が認定する「エコ・ファースト企業」に認定されました。

「エコ・ファースト制度」とは・・・

企業が環境大臣に対し、自からの環境保全に関する取組を約束し、その取組が、先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動であることを、環境大臣が認定する制度です。<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>



《認定式 / 左:藤岡徹也(代表) 右:山田環境副大臣》

■エコ・ファースト認定式「令和5年4月5日(環境省にて)」

令和5年4月5日(水)に環境省内で「エコ・ファースト」認定式(第21回)が行われ、西村環境大臣、山田環境副大臣が出席し、本認定式で藤岡保険を含む12社が新たに「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。これで認定企業は66社となり、藤岡保険は小規模事業者として”全国初”の認定企業となります。



(西村環境大臣／和田環境事務次官／新規認定12社との集合写真)

環境分野における総合的な取組の先進性を大臣が認定する制度としては国内唯一であり、多くのサステナビリティ経営、環境経営のトップランナーである様々な業界を代表する企業が、環境大臣と環境保全に関する取組の約束を行っています。

※エコ・ファースト推進協議会HP <https://www.eco1st.jp/>



環境大臣認定
エコ・ファースト企業

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 西村 明宏 殿

令和5年4月5日
有限会社 藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長 藤岡 徹也

1 脱炭素社会に向けた「グリーン（GX）×デジタル（DX）」社会の実現を推進します。

🌿 エコアクション21のガイドラインに則った環境経営の実践！

CO₂排出量の削減に向けた5つの項目（電力・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）における数値目標を設定し、計画的かつ継続的な実践と改善に取り組みます。結果、CO₂排出量を2030年までに2020年度比で49%削減、2040年まで80%削減、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指します。

🌿 徹底したデジタル革新（DX）を推進し、あらゆる完全ペーパーレス化を実現！

保険のお申込手続きの際に、デジタル手続き（ペーパーレス手続き/オンライン手続き/電子署名手続き等）を積極的に推進し、同時にお客様へ「WEB約款・WEB証券・WEB更新案内」をご選択頂くことで（マイページアプリで閲覧）、紙資源使用量の大幅な削減に貢献し、業界をリードするDX推進企業として、2024年までに、全てのお申込手続きならびに保険金請求手続き時における完全ペーパーレス化の実現を目指します。

🌿 通信機能付きドライブレコーダーでお客様の「安全運転」と「ECO DRIVE」をサポート！

取扱保険会社（東京海上日動）が提供する通信機能付きオリジナルドライブレコーダーをより多くのお客様にご利用頂くことで、お車の「急発進・急停止」「片寄警告」「前方車両接近警告」「居眠り警告」等をリアルタイムで注意喚起することにより、お客様への「安全運転」とふんわりアクセル・ブレーキによる「ECO DRIVE」（10%程度燃費向上）サポートに貢献し、交通事故減少と燃料消費量削減で、国が普及・推進する「エコドライブ10のすすめ」につなげます。

2 防災・減災と再エネを推進し「レジリエンスでエコなまちづくり」に貢献します。

🌿 お客様と共に災害から命を守る森づくりで地球環境保全に貢献！

お客様と共にできる防災・減災・地球環境保全を実現するため、お客様から「WEB証券・WEB更新案内」をご選択頂いたご契約1件につき100円を「公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト」への寄附や植樹活動などの社会貢献活動を通じて、お客様と共に取り組む「災害から命を守る森づくり」と「紙資源使用量の削減」ならびに防災・減災と自然・生物多様性保全に寄与することを目指し、包括的かつレジリエンスでエコなまちづくりに貢献します。

🌿 再生可能エネルギー（自家消費型ソーラーカーポート）の導入！

「再エネ100宣言 RE Action」への参加企業として、グリーン電力の購入と合わせ、2024年までに自家消費型ソーラーカーポート設備を導入し、自社で使用する電力を全て再生可能エネルギー100%で賄うことを目指します。また、災害等による停電時の際には、自家消費型太陽光発電を非常用電力として活用し、事業活動における災害レジリエンスの強化・維持を図ります。その他、2035年までに全ての社有車を電気自動車（EV・PHEV）に順次切り替え、環境にやさしい再エネ100%自家発電による「ゼロカーボン・ドライブ（再エネ100%+EV車）」を実現します。

3 環境経営を実践するための体制整備と社員教育を実施します。

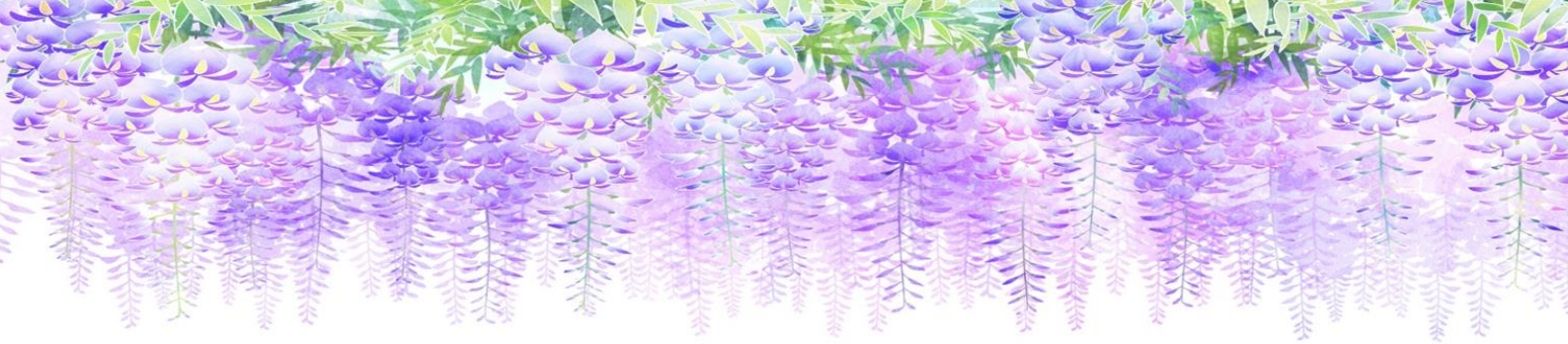
🌿 環境経営システムの構築と計画的な社員教育の実施！

事業活動により発生するCO₂排出量を四半期毎に集計し、CO₂排出量削減に向けたPDCAサイクルを計画的に実施することで、継続的な実践と改善に努めます。また、社員への環境教育の一環として、eco検定の取得推奨や費用援助、環境関連セミナーへの参加促進をはじめ、社会貢献活動（地域の清掃活動や植樹活動などのボランティア等）に自主的に参加しやすい職場環境を整備し、その他地元企業等の社外に向けたSDGs取組事例の講演活動や、小学生を対象とした防災授業と生物多様性への理解向上につながる環境学習の実施など、会社一体で環境経営に対する意識の浸透と実践に取り組みます。

4 SDGs 達成に向けた取り組みの「輪」を広げていきます。

🌿 SDGs 達成に向けた取り組みとステークホルダーへの情報発信を実践！

環境省が提唱する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」ならびに「COOL CHOICE」の取り組みに賛同し、この運動をもっと大きなものにするためにも、全てのステークホルダーに向けての積極的な情報発信（環境経営レポート・ホームページ・公式SNS・会社PV動画等）を通じて、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現につながる「橋渡し役」として、SDGs達成に向けた取り組みへの「輪」を広げていきます。



②東北震災復興ボランティア(海岸林の植林活動)



■「わたりグリーンプロジェクト」in 宮城

令和5年11月12日(土)に東京海上日動主催の東北復興ボランティア「わたりグリーンベルトプロジェクト」に参加しました。

東日本大震災での大津波によって、約120haあった亙理町の海岸林は壊滅的被害を受けましたが、地元住民から「失われえた海岸林を取りもどしたい!」との声で、2015年「NPO法人 わたりグリーンベルトプロジェクト」が設立され、これまで4万4千本以上の苗木が植えられています。<https://watari-grb.org/>



わたりグリーンプロジェクト参加者皆さんと集合写真!

③ひろしまエコ事業所



■「ひろしまエコ事業所」認定(広島市)

令和4年11月に、広島市環境局地球温暖化対策課より「ひろしまエコ事業所」の認定を受けました。

広島市では、省エネルギー対策などに積極的に取り組んでいる事業所を「ひろしまエコ事業所」として認定することによって、中小企業の環境への取り組みを支援しています。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/88/13606.html>



ひろしまエコ事業所認定

④社員への環境教育



■eco 検定の取得推奨と費用補助

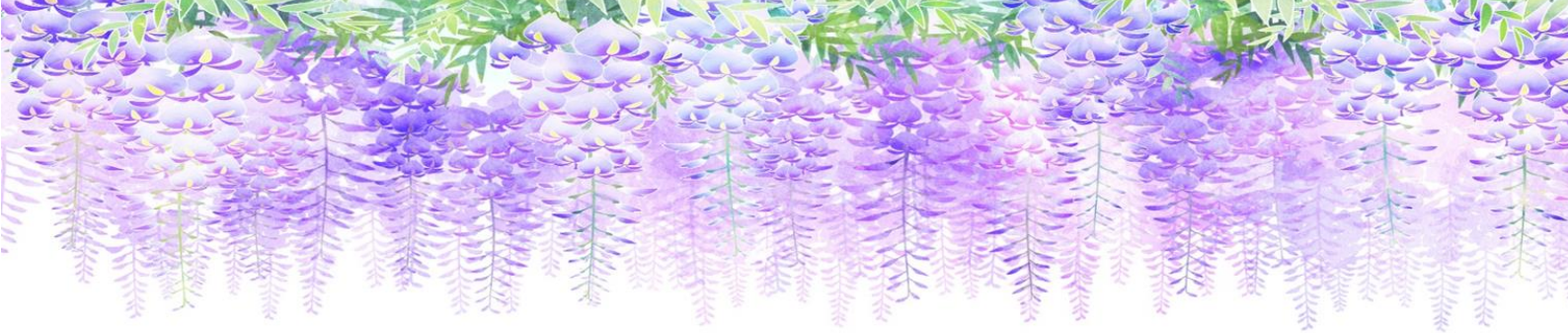
社員への環境教育一環として、eco 検定の取得推奨や費用援助、環境関連セミナーへの参加促進を実施しました。

今後は、社会貢献活動などにも自主的に参加しやすい職場環境を整備するなど、会社一体で環境保全に対する意識の浸透と、主体的な活動の実践に取り組んでいきます。

<https://kentei.tokyo-cci.or.jp/eco/>



eco 検定を取得!



⑤再エネ100宣言 RE Action



■消費電力の再エネ100%を目指す

弊社は、2023年1月12日付けで、RE100の中小企業版との位置づけである『再エネ100宣言 RE Action』への参加を表明しました。

「再エネ100宣言 RE Action」とは・・・

中小企業等が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することへの意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。

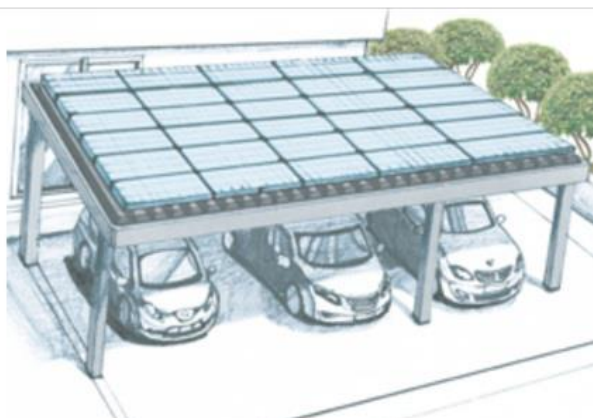
※再エネ100%達成目標年：2025年

<https://saiene.jp/>



■自家消費型ソーラーカーポートの導入

自社で使用する電力をすべて再生可能エネルギー100%で賄う事を実現するため、自社駐車場に自家消費型ソーラーカーポートを導入予定で、2023年8月頃の完成を目指しています。



太陽光パネル両面一体型ソーラーカーポート

太陽光発電設備の導入で、災害等による停電時の際には、非常用電源としての活用し、事業活動における災害レジリエンス強化を図ります。

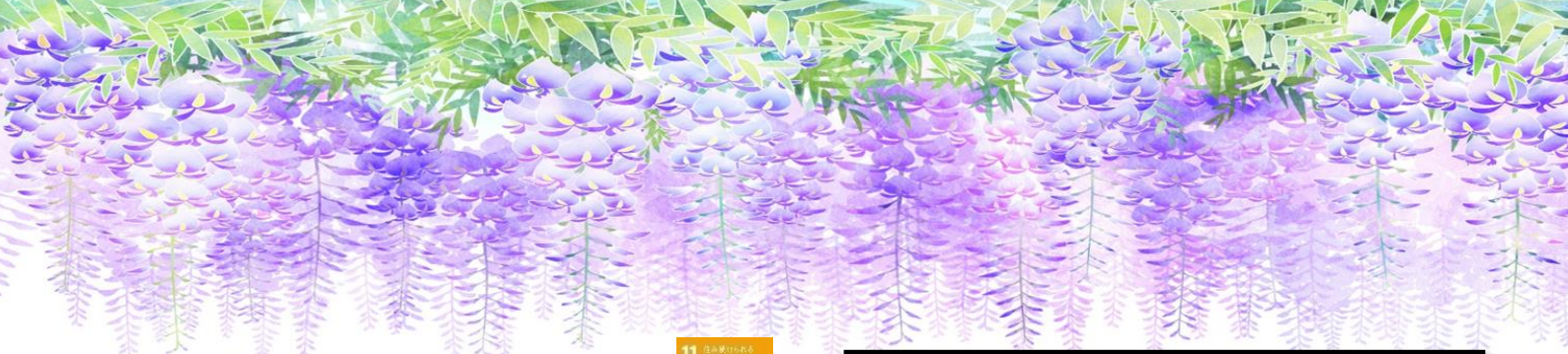


■自社では初となるEV車を導入

2022年11月には、CO₂排出量を削減するために、環境に配慮した自社では初めてEV車(テスラ)を購入しました！

当社は、2035年までに社有車を全てEV車・PHEVに順次切り替え、環境省が推進する再エネ100%自家発電による「ゼロカーボン・ドライブ(再エネ+EV車)」の実現を目指しています。





⑥グリーンボンド(ESG 投資)



■広島県環境債グリーンボンドへの投資

当社は、2023年2月に広島県が「2050ネット・ゼロカーボン」の実現に向けた取組の一環として発行したグリーンボンド(環境債)の投資を行いました。

「グリーンボンド」とは、

企業や地方公共団体等が、環境改善効果のある事業や環境保全のための事業等(いわゆるグリーンプロジェクト)に要する資金を調達するために発行する債券です。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kennseitakarakuji/>

令和5年2月15日
有限会社藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長 藤岡 徹也

広島県グリーンボンドへの投資について

有限会社藤岡保険コンサルタント(代表者名、以下「当社」という)は、このたび、広島県が発行するグリーンボンド(広島県令和4年度第7回公募公債(グリーンボンド・10年)、以下「本債券」という)に投資したことをお知らせいたします。

グリーンボンドは、企業や地方公共団体等が、環境改善効果のある事業や環境保全のための事業等(いわゆるグリーンプロジェクト)に要する資金を調達するために発行する債券です。

本債券におけるフレームワークは、国際資本市場協会(International Capital Market Association: ICMA)の「グリーンボンド原則」及び環境省による「グリーンボンドガイドライン(2022年版)」に適合している旨、第三者機関からセカンド・パーティー・オピニオン(Second Party Opinion: SPO)を取得しています(SPO発行者:株式会社日本格付研究所(UCR))。

本債券発行による調達資金は、広島県が取り組む「漁場環境の保全」、「県有施設の照明のLED化」等の、環境改善効果のある事業に充てられる予定です。

引き続き、当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、本債券をはじめとしたESG領域における投資を一層推進してまいります。

【本債券の概要】

銘柄	広島県令和4年度第7回公募公債(グリーンボンド・10年)
年限	10年
発行額	50億円
発行日	2023年2月27日

以上

⑦海岸保全清掃活動



■「みずとりの浜公園」清掃活動

2023年3月に「みずとりの浜公園(地元の海岸沿い公園)」にて、清掃活動を実施しました。

多様な環境に生息する野鳥は自然環境の状態を教えてくれるバロメーターです。この海岸には毎年秋から冬の寒い時期になると、多くの渡り鳥(水鳥)が集まってきます。海岸保全は生物多様性にも貢献します。



⑧環境省「新国民運動」



■新国民運動官民連携協議会への参画

2022年10月には、環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現」に向けた、新たな国民運動をスタートさせました。当社も、この脱炭素につながる新たな取り組みに賛同するため、官民が連携する新たなプラットフォームである「新国民運動官民連携協議会」に参画いたしました。

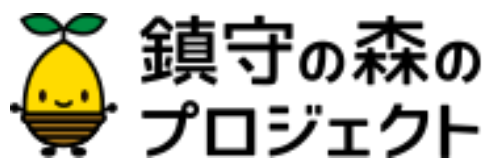


⑨災害から命の守る活動



■鎮守の森のプロジェクトへの支援活動

当社は100年先の未来世代が変わらず「安心」・「安全」で暮らせるサステナブルな地球環境を守るために、「公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト」への寄付を通じて、当該プロジェクトの継続的な発展と、防災・減災と生物多様性への取り組みに貢献しています。<https://morinoproject.com/>



③SDGsに合致したプロジェクト！

災害から命や財産を守る森づくりは、防災・減災はじめ生物多様性への支援活動にもつながり、保険事業のサステナビリティにも貢献するSDGsに合致した取り組みです。

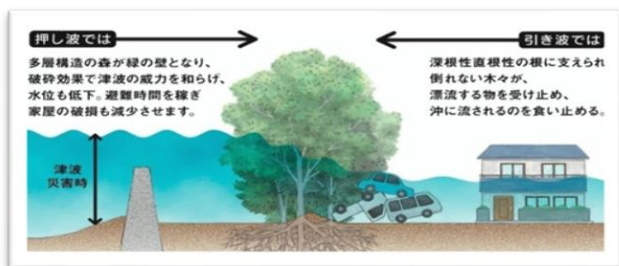
①「災害から命を守る森づくり」

昔から森林は大火による被害を食い止め、防災林として大きな役割を果たしてきました。その森は、かつて神社を囲むように存在した「鎮守の森」であり、たくさんの動植物の命を育み、地域と暮らしを守る存在でした。このプロジェクトでは、東日本大震災で被災した地域などで沿岸部を中心に盛土築き、常用広葉樹のポット苗を植樹し「いのちを守る森」を築いていく活動です。



②「鎮守の森のプロジェクト」4つの利点！

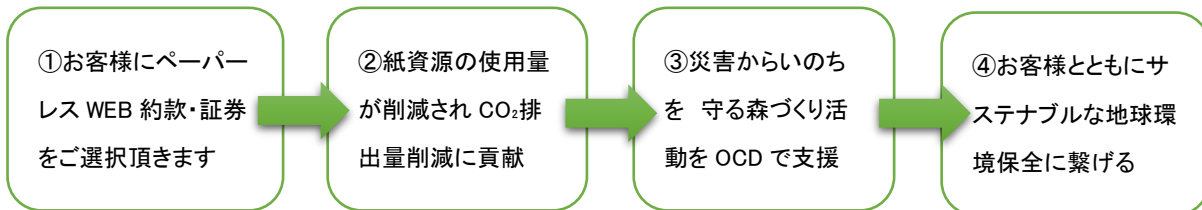
- ①沿岸部で防波堤として津波の威力を弱め漂流物を食い止める
- ②水分を含む常緑広葉樹は火災時の延焼を防ぐ
- ③台風・豪雨災害時でも防風林や土留め効果として活躍
- ④温室効果ガスであるCO2を吸収し温暖化対策に貢献





④東京海上日動 WEB 証券1件につき  円を寄附
ワン・コイン・ドネーション(OCD)

「お客様とともに防災・減災・地球環境保全に貢献したい」を実現するため、WEB証券を
ご選択頂いた契約1件(新規・更新)につき100円を「公益財団法人 鎮守の森のプロジ
ェクト」に寄附する、2021年から取り組みを開始した当社独自の社会貢献活動です。



鎮守の森のプロジェクトは、皆様のご寄付で森をつくっています。
この写真の苗1本を植えるのに、土壌改良費や資材費など含め、おおよそ1000円がかかります。

1000 =  ポット苗1本分

皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

2022年 寄付金額74,000円(WEB証券740件分) 

今年も「ポット苗木74本分相当」をみらい世代へ届けました



⑩お客様の「エコドライブ」をサポート



■通信付きドライブレコーダー(DAP)の推進

「ドライブエージェント パーソナル(DAP)」とは・・・
東京海上日動が貸与する通信機能付きオリジナルドライブレコーダーを活用したテレマティクスサービスです。

もしもの事故時はもちろん、いつもの運転時も、多様なサービスでお客様に「安心・安全」をお届けします。

当社は、広島支店(東京海上日動)において、5年連続DAP付帯率第1位を達成しました。
(2022年度:DAP付帯率47.3%)



■「事故防止支援サービス機能」でエコドライブをサポート

東京海上日動の通信機能付きドライブレコーダー(DAP)には、事故防止支援サービス機能も搭載されており、お客様の安全運転とエコドライブをサポートします。

①危険地点接近警告(1カメラ型のみ)

運転中の天候や時間帯および運転状況をもとに危険地点を予測し、リアルタイムで注意喚起を実施します。

②片寄警告&前方車両接近警告

車線片寄り・はみ出し時や前方車両の接近を検知した際に、運転者へ注意喚起を行います。

③わき見・居眠り警告(2カメラ一体型のみ)

運転中のわき見や居眠りを検知した際に、音声メッセージと画面表示により警告します。

④運転特性データを収集・安全運転診断を実施

収集した運転データを基に作成された「安全運転診断レポート」を紙媒体または専用アプリからご確認頂けます。

⑪「みんな de グリーンイノベーション」 by 東京海上日動

■お客様と共にペーパーレス化で環境保護

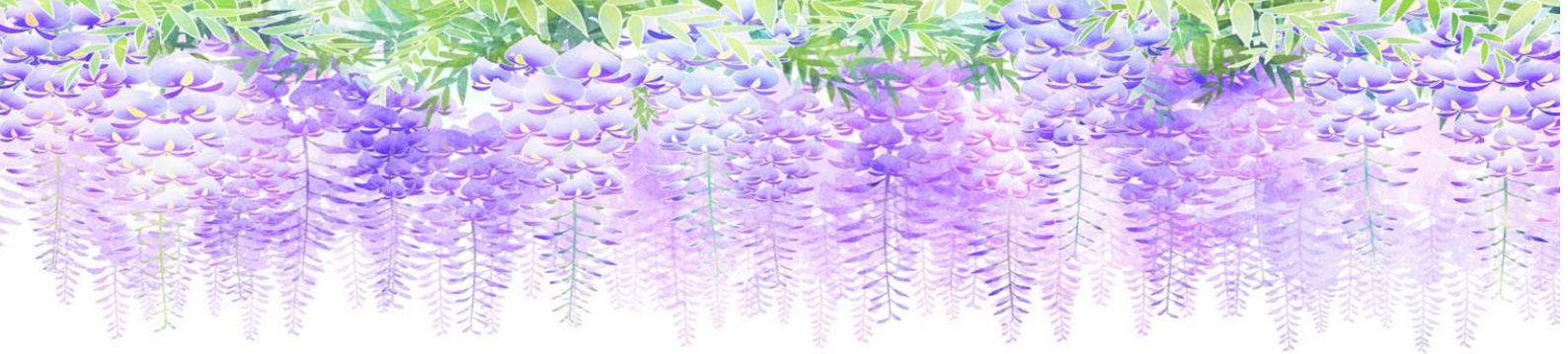
東京海上日動では、「お客様とともに環境保護を行うこと」をコンセプトに、2022年1月より「みんなdeグリーンイノベーション」をスタートさせ、ご契約手続きや保険金お支払いの際のなどにおけるペーパーレスを積極的に推進しています。

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/sustainability/gi/>



緑あふれる地球を 次の世代へ、もっと未来へ

お客様の利便性や快適性をデジタルで格段に高めるとともに、紙資源の大幅な削減による社会課題の解決を目指す取り組みです。



■みんな de グリーンイノベーション推進代理店

みんなdeグリーンイノベーション推進代理店

当社は、東京海上日動の環境保護活動「みんなdeグリーンイノベーション」推進代理店として、ペーパーレス化を積極的に推進しています。



■「超保険20周年記念コンテスト」☆☆全国第1位達成☆☆

東京海上日動の超保険発売20周年を記念した「超保険20周年記念コンテスト」が開催され、弊社は全国で“第1位”の成績を達成し、東京海上日動より記念品を頂きました。

「超保険20周年記念コンテスト」とは・・・
環境に配慮したペーパーレス(らくらく手続き)、かつマイページ登録、WEB証券割引が適用された契約手続きを積極的に推進した全国の代理店上位5店に記念品を贈呈。
(対象期間2022年7月～2023年3月)

from 東京海上日動 担当者さんのコメント

藤岡保険コンサルタントさんでは、地球環境保護を目指したペーパーレス化に向け様々なお取組みを実施いただいております。特に、保険手続きにおけるデジタル化(リモート含む)や、お客様に Web 上で補償内容を確認頂ける Web 証券の推進を全国の保険代理店さんにおいてトップレベルでお取組みいただくなど、お客様の利便性・快適性向上と環境経営を両輪で実現されています。また、保険事業に留まらない多角的な視野での地球環境保全に向けたお取組みには、弊社としても大きな刺激と学びをいただいております。東京海上日動としても、安心・安全でサステナブルな未来づくりに向け、引き続き藤岡保険さんをはじめ、多くの代理店さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。



東京海上日動火災株式会社
広島中央支社 檜山さん





12「COOL CHOICE」

13 気候変動に
具体的な対策を

COOL CHOICE

昼休みは
スイッチオフ!

COOL CHOICE

席を外すときは
省エネモードに!

COOL CHOICE

オフィスのゴミを
きちんとリサイクル!

COOL CHOICE

裏紙は
メモ用紙に!

COOL CHOICE

両面・2in1印刷で!

COOL CHOICE

エコペーパーを
使用しています。

地球温暖化対策のための国民運動
「COOL CHOICE (=賢い選択)」

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の
温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。
世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を
2度未満にする(さらに、1.5度に抑える努力をする)こと、
今後半世紀に温室効果ガスの排出を
実質ゼロにすることが打ち出されました。
日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を
26%削減 (2013年比) する目標を掲げています。
「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、
省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、
温暖化対策に資する、
あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、
いま選択できるアクションを選ぶ。
あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。

COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

ぜひ「COOL CHOICE」にご賛同をお願いします。
詳しくは「COOL CHOICE」公式HPへ!!

環境省 [クールチョイス](#) [検索](#)

COOLBIZ

WARMBIZ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野イマ

身近な生活の中にある...
「COOL CHOICE」
ってなに?
賢い選択?

ワタシにもできること
あるかな?

日々の
積み重ねが
大切なの!

COOL CHOICE

賢い選択

私たちの「身近な選択」が、
地球温暖化対策につながります。

「COOL CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を
2013年度比で26%削減するという目標達成のため、低炭素型の
製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、
地球温暖化対策に資する「賢い選択」をして脱炭素社会を
目指していこうという取組のことです。

環境省 [クールチョイス](#) [検索](#)

COOL CHOICE **eco**

チョイス! エコカー



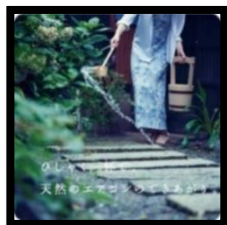
環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野ミライ

～「COOL CHOICE」宣言～

政府は、2021年4月22日の地球温暖化対策本部会議の中で、当時の菅総理は「2030年までに国内の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目指す」と宣言されました。当社は、中期3カ年環境経営目標に則って、2021年11月に環境省が地球温暖化対策のための国民運動として呼びかける「COOL CHOICE」への取り組みに賛同することで、あらためて社員一人一人がSDGs13「気候変動に具体的な対策」に関わる取り組みへの決意を新たにいたしました。

我々は、この「COOL CHOICE」運動をもっと大きなものにするために、「ゼロカーボンアクション30」などの取り組みを通じて、ステークホルダーに向けて積極的な情報発信を実施していきます。そして、一人でも多くの方々に地球温暖化問題に関心を持って頂ける「橋渡し役」として、今後もこの取り組みへの「輪」を広げる活動を継続的に実施して参ります。



COOL CHOICE賛同証明書

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」にご賛同いただいておりますことをここに証明いたします。

企業・団体名

有限会社 藤岡保険コンサルタント

ご賛同日

2021/11/11

COOL CHOICE事務局

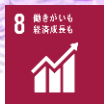
発行日：2022/01/28



当社は、環境省が推奨する「COOL CHOICE」への取り組みに賛同しています

14. SDGs の取り組み

① 「健康経営」の取り組み



■健康経営優良法人2023認定

2023年年3月に経済産業省「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)」に、初めて認定されました。

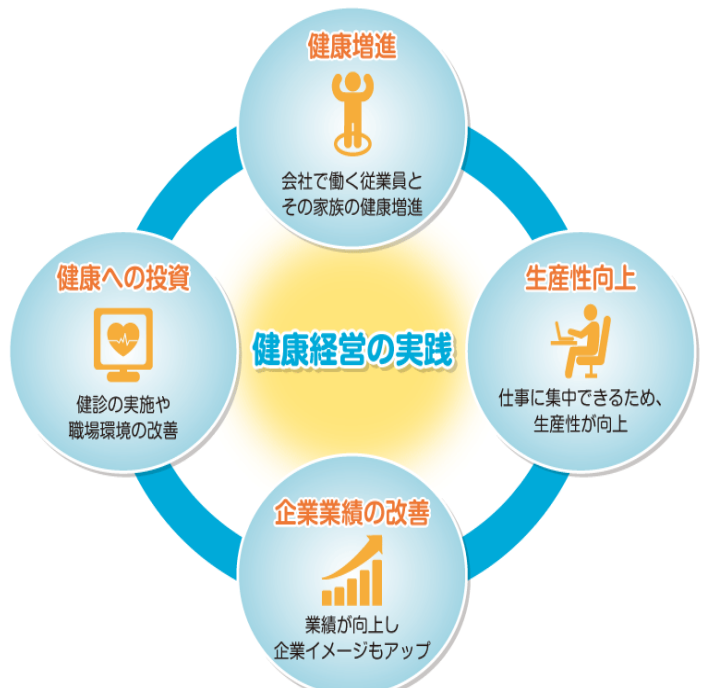
「健康経営優良法人認定制度」とは・・・

特に優良な健康経営を実践している法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業などから評価を受けることができる環境を整備することを目的に、経済産業省が創設した制度です。



■「ひろしま企業健康宣言」健康づくり優良事業所

全国健康保険協会広島支部からは、令和4年8月に「ひろしま企業健康宣言 健康づくり優良事業所」として、最高評価(5つ星★★★★★)の認定を受けました。



② SDGs取り組みの情報発信



■WEB サイト全面リニューアル

2022年11月には、8年ぶりとなるWEBサイトの全面リニューアルを実施しました。当社が掲げる「みらいプロジェクト2030」に対する想いや、SDGsへの取り組みを発信するレイアウト構成となっています。<https://hiroshima-fp.com/>



■公式 SNS での情報配信

当社の公式インスタグラムでは、何気ない日常の写真を投稿したり、会社のイベントや情報を発信したりと、最近ではインスタグラムを活用しながら、Z世代などの若年層に向けてのアプローチを意識した活動にも力を入れています。



Instagram



LINE@

投稿内容としては、会社での何気ない内容からSDGsへの取り組みなど、新しい情報発信の場として、『ゆる〜く』やっています。また、2018年より導入した公式LINE@の登録者数は1800人を突破。毎月2回(10日・25日)のメッセージ配信を行っています。

また、LINE@のリッチメニューを新設し、ご登録済みのお客様が弊社のトップ画面からインスタやWEBサイトにワンタップで直接遷移できるように、利便性を向上させました。



■会社 PV 動画の制作(YouTube)

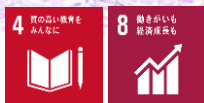
我々のステークホルダーに向けて、当社がSDGs達成のために3つの柱(コア・コンピタンス)に位置づけた「環境」・「健康」・「DX」に取り組む意義について、映像で分かりやすく説明したPV動画を制作しました。



<https://www.youtube.com/watch?v=OBqDmqC-e5A>

我々が目指す未来に向けたメッセージ性のある会社PVに仕上がっており、多くのステークホルダーから大変好評を頂きました。

③「人づくり経営・人材育成」



■企業の繁栄は「人づくり経営」にあり

どの会社でも事業の中核を担っているのは、いつも現場の社員さん達です。当社代表が経営者として最も大切にしていることは、企業の繁栄は「人づくりの経営」にあり・との考えです。自社の事業活動が「人・社会・環境」に少しでも役立つような存在であり続けること、全てのステークホルダーに「ありがとう」の感謝の心を大切にすること、これらを社員が自らのライフ・ワーク・バランスとして捉え、主体的かつ積極的に社会に貢献できる人材に育てる「人づくり経営」こそが、当社の人材育成の基本理念です。

■「道徳経済一体」経営の精神

これは道徳と経済は常に一体であるという考え方です。当社では、毎月の月初会議に「道徳の時間」を取り入れて、社員全員が学びを実践しています。

「いい大人が今さら道徳かよ」・お思いの方もいらっしゃると思いますが、どの時代であっても、人と人が関わり続ける限り「道徳」は決して切り離せないものです。我が社は、長年にわたりこの「道徳一体経営」の精神をととても大切にしています。

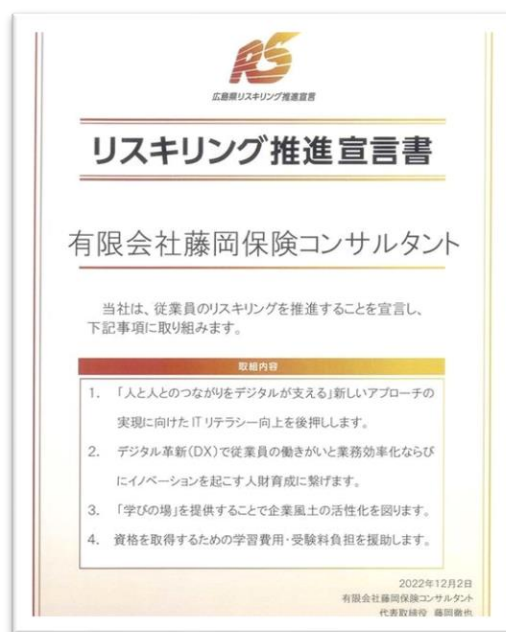


毎月心を育てる月刊誌「ニューモラル」を読み合わせています

(公益財団法人 モラロジー道徳教育財団)

■広島県リスキリング推進宣言

従業員へのスキル再習得のための学び直しを提供することを宣言するため、県に「広島県リスキリング推進宣言書」を策定・提出しました。



■SDGs アドバイザーを取得

2022年7月に、弊社代表(藤岡徹也)が広島県で第1号となる「一般社団法人 SDGs 大学認定 SDGs アドバイザー」に合格しました。



④ BCP 対策と情報セキュリティ



【事業継続力強化宣言】

大規模自然災害等の発生時には社員とご家族の「人命」を何よりも最優先します
平時から緊急事態に備えた事業継続力強化のための「教育・訓練」を実施します
感染症拡大時には事業活動への支障を最小限に抑えつつ社員の「安全と雇用」を守ります

■「事業継続力強化計画」認定企業

当社は、2022年3月15日付けで中国経済産業局長より、「事業継続力強化計画」に係る認定を取得しました。



事業継続力強化計画とは・・

中小企業が策定した防災・減災・の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画（通称：ジギョケイ）」として認定する制度です。

《計画に記載する主たる項目》

- ◆ハザードマップ等を活用した自然災害リスクの確認方法
- ◆安否確認や避難の実施方法、災害時の初動対応手順
- ◆人員確保、事務所設備の保護、情報保護等の具体的対策
- ◆訓練の計画・実施・見直し、事業継続計画の実効性の取組

■緊急事態への準備及び対応に備えた机上演習

【ジギョケイ対策推進会議2022】

危機管理委員長（代表取締役社長）の指示の下、大規模地震を想定した、緊急事態への準備及び対応に備えるための社員教育「ジギョケイ対策推進会議」を実施し、今後の課題や具体的な対策などを検討し、実行性を確保したBCP対策の見直しを確認しました。

（実施日：2023年3月27日）

- 発災時での社員間の安否確認方法（LINEを活用）を確認。
- 当事業所におけるハザードマップを確認し、避難経路と避難場所の確認。
- 事業所ならびに自宅で想定される最大震度を確認。
- 大地震を想定した「机上教育・訓練」を討論形式で実施。
- 夜間・休日・通勤時での避難行動指針や出社体制の有無を確認。
- 火災・停電・断水に備え、事業活動が継続できる最低限の備蓄品を点検。



ジギョケイ対策会議2022の様子



■「SECURITY ACTION」対策自己宣言

当社は、2023年1月に独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が推奨する「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」に則り、セキュリティアクション対策自己宣言(2つ星)を宣言しました。

「SECURITY ACTION」対策自己宣言とは・・・

中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度で、二つ星はガイドライン付録の「5分できる！情報セキュリティ自己診断」で自社状況を把握したうえで、情報セキュリティ基本方針を定めたことを、外部に公開した事を宣言した場合に使用できるロゴマークです。

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/index.html>

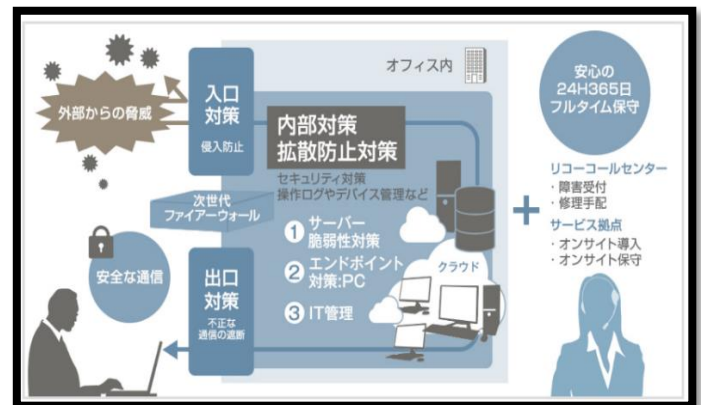


セキュリティ対策自己宣言

■情報セキュリティ管理体制&PW 設定強化

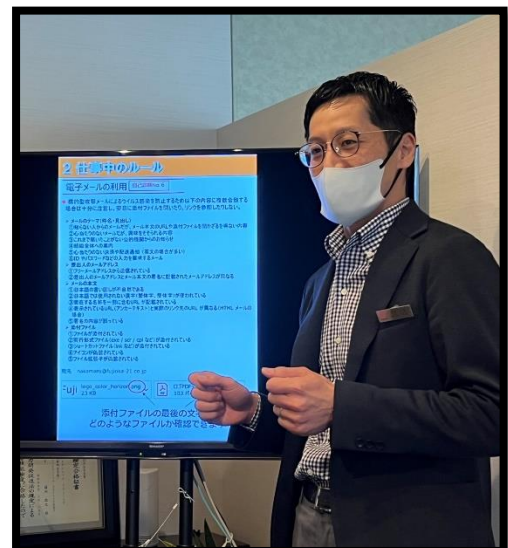
当社は、情報漏洩を防止するために、情報セキュリティ管理ルールを定め、お客様の個人情報や機密文書の施錠管理を徹底しています。

2023年1月にはPC ログイン等のパスワード設定を強化(4種10文字以上)しました。あわせて昨今の巧妙化・悪質化する外部からのサーバー攻撃等や不正な通信に備えるため、委託業者(リコージャパン)と協力して、物理的セキュリティ対策強化を実施しています。



■情報セキュリティ社内勉強

社員によって知識がばらばらのため、どのような手口で攻撃されるのか、普段気を付けておくことや、万が一ウイルスに感染してしまった場合での対処手順を確認するなど、実行性を重視したサーバーセキュリティ・情報セキュリティ対策に備える社内勉強会を実施しています。

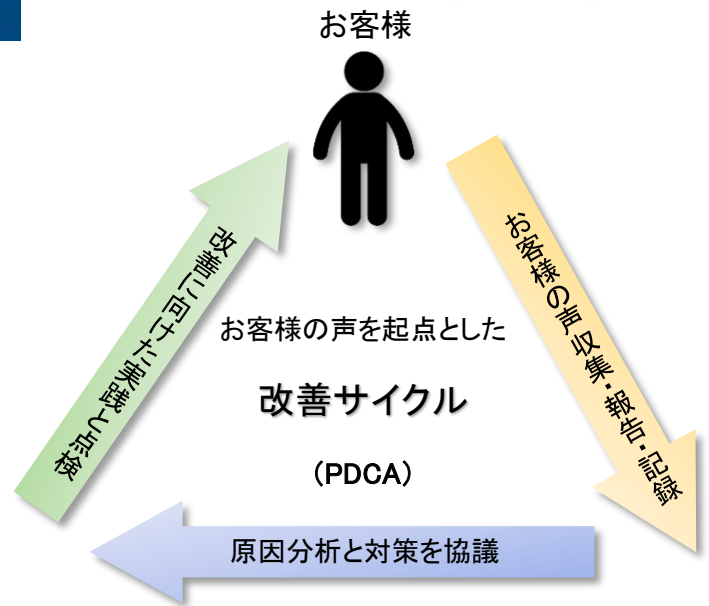


⑤ ガバナンス(企業統治)



■「お客様の声」の収集・記録と改善サイクル

当社は、「お客様の声」対応方針を策定し、お客様からの厳しいご意見・ご要望をはじめ、ご不満(苦情)やお褒めの声をしっかりと収集・記録し、頂いたお客様の声は、速やかに原因と対応内容を社内に報告・共有するしくみを構築しています。毎月1回(第4火曜日13時)「お客様の声」定例ミーティングを実施し、社内全員でPDCA 行い今後の対応マニュアルやサービスの改善に繋げています。



※2022年度ご不満(苦情)件数:41件
(東京海上日動 TNET システム内にて記録保存)

■「顧客本位の業務運営に関する原則」にかかる金融事業者リストへの掲載

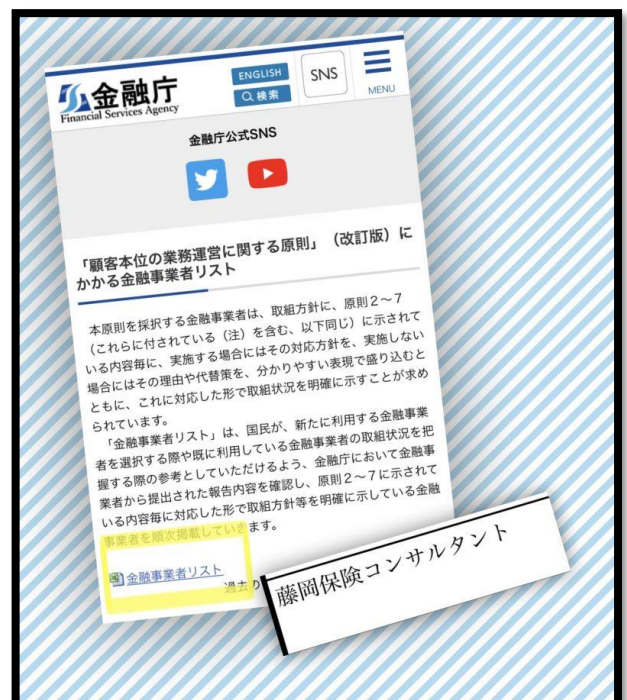
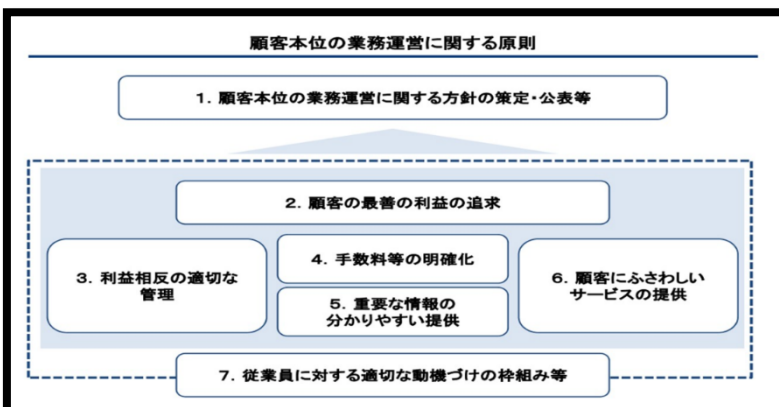
弊社は、2023年1月20日付けで、金融庁が公表する「顧客本位の業務運営に関する原則」にかかる【金融事業者リスト】に初めて掲載されました。

なお、事業別区分(損害保険代理店)では、掲載企業数は弊社を含め合計15社(1月20日時点)となっています。

「金融事業者リスト」とは・・・

金融庁は、よりよい取組を行う金融事業者が、顧客から選択されるメカニズムを実現するため、原則を採択し原則との対応関係を明らかにした取組方針等を示した金融事業者からの報告を受けて、内容を確認し「金融事業者リスト」として取りまとめ、定期的に公表しています。

https://www.fsa.go.jp/news/r4/kokyakuhoni/20220909/fd_202



⑥ おもてなしプロジェクト



■アロマの香りで「おもてなし」

アロマの香りには、集中力を高めたり、自律神経を整える鎮静効果など、心と身体にリラックス効果をもたらします。今年新たに「アロマ付き加湿器」を購入し、数種類のアロマの香りで「心の癒し効果」と「おもてなしを演出」しました。



アロマでリラックス効果を演出

■「ウェルカムボード」でおもてなし

当社にご来社頂く予定のお客様に向けて、事務所の入口にウェルカムボード設置して、お名前を書いてご来社頂いた感謝の気持ちを表現しました。

また、ウェルカムボードの絵は、毎月社員が心を込めて季節に合わせたデザインで描いています。

お客様からは「わざわざ名前書いてくれてる～」と大好評です！（嬉）

■「上品な応接空間」でおもてなし

応接室の照明を省エネ効果もある温かみあるダウンライトで高級感を演出しました。

また、女性が手荷物バックを置いたり、小さな赤ちゃんも横に寝させることができるようにと、「ベンチソファタイプ」の椅子を設置するなど工夫をしました。

壁には、室内の湿度を快適な状態にコントロールする働きがある「エコカラット」を使用しました。



ウェルカムボードでお客様をお出迎え



ダウンライトとエコカラットで上品な空間演出



女性にやさしいベンチソファを設置



⑦新聞取材・雑誌掲載等

新日本保険新聞社(2023年新春特集号)

広島経済レポート(令和4年12月15日号)

新日本保険新聞 2023年(令和5)

『SDGs経営に挑戦中!』

藤岡 徹也氏
代表取締役

自らもSDGsに 支えられていることを実感

「藤岡さんの経歴、1マンの力でここまで、これは、か」と会社の状況を聞いて、藤岡さん自身も驚かされた。藤岡さんは、広島市街に出生された。24歳の時に、父が創業した新日本保険に、今年で創業50周年を迎える。藤岡さんは、父が創業した新日本保険に、今年で創業50周年を迎える。藤岡さんは、父が創業した新日本保険に、今年で創業50周年を迎える。

広島経済レポート

藤岡 徹也氏(42歳)

藤岡保険コンサルタント社長

見直し、従業員とその家族を大事にすること、多様な考え方を尊重するなどのSDGsに着手。おかげで、前向きな発言が増え、社員同士が助け合い合う職場に変わりました。私自身も38歳で「脳脊髄液減少症」を患い、未だ完治には至っていませんが、社員が支えてくれています。

近年は気候問題に起因する災害なども増える中、地球環境への「貢献」という言葉に違和感を覚えています。人間はこれまで自然からさまざまなものを享受してきたから「恩返し」がふさわしい。企業規模に関わらず取り組む必要性を感じます。持続可能な社会の実現へ、「グリーン×デジタル」戦略を推し進めたい。

岡山県情報誌エコマガジン「環境」(2023年春号)

エコアクション 21 Vol.30

2030年までの目標を掲げ E.A.21による環境経営の拡大で 持続可能な成長企業へ!

CO2排出量の削減と目標達成率(%)

環境経営の相関図

藤岡 徹也 代表取締役

藤岡保険コンサルタント 保険代理業で初、エコ事業所

保険代理業の藤岡保険コンサルタント(佐伯区利松2-12-10、藤岡徹也社長)は11月11日、保険代理業で初めて「ひろしまエコ事業所」の認定を受けた。

環境省策定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」を取得。デジタルイノベーションの推進で、業務の効率化とペーパーレス化を進める。2021年度のウェブ証券率は65・2%で、東京海上日動火災Pチャンネル代理店内の全国1位となった。顧客のウェブ証券1件につき100円を「鎮守の森のプロジェクト」に寄付する。藤岡社長は7月、SDGs大学認定「SDGsアドバイザー」を取得。今後はソーラーカーポートの設置などでBCP(事業継続計画)などを進める計画。

藤岡保険コンサルタント

小規模事業者で全国初

「エコ・ファースト企業」認定

保険代理業の藤岡保険コンサルタント(佐伯区利松2-12-10、藤岡徹也社長)は4月5日、国が環境分野の先進的な取り組みを認める「エコ・ファースト企業」に全国の小規模事業者(従業員20人以下)で初めて認定された。年内の自家消費型ソーラーカーポートの導入に加え、2024年中に保険申し込み・請求手続きの完全ペーパーレス化を目指すなど、さらに加速させる。

第21回の認定式で、大阪ガスやコカ・コーラポトラーズジャパンホールディングス、塩野義製薬など12社と並び認められた。累計66社、顧客とのコミュニケーションにSNSを活用するほか、オンライン営業などをDXを推進。保険の申し込み手続きではオンラインや電子署名などに加え、約款や証券、更新案内などもウェブ参照を顧客に積極提案し、紙資源使用量の削減を図っている。21年度のウェブ証券率は65・2%で、東京海上日動火災の代理店でも全国トップとなった。

昨年7月に国の「エコアクション21」に加え、同年11月には「ひろしまエコ事業所」認定を受けた。CO2排出量の削減に向け、電力や一般廃棄物、ガソリン、水、紙の五つの項目で数値目標を設定し継続的に取り組む。現在は昼食時の全消灯は、カーシェアリング、ウォームビートの推進などで電力使用量を削減。eCO検定の取得推奨など社員への環境教育も進める。年内にソーラーカーポートの設置に加え、35年までに営業車両のEVへの完全移行などを計画し、40年までにCO2排出量の半減を目指す。藤岡社長は「18年に患った病

15. 代表者による全体評価と見直し・指示

2022年度の全体評価としては、電力使用量や一般廃棄物などの主要な項目について、一定の削減効果が数値として残せた点は評価しています。また、名だたる大企業が認定されている「エコ・ファースト企業」の認定を頂けたことは、当社がこれまで取り組んできたエコアクション21の環境経営実践に対する方向性と実績が、揺るぎない確かなものであると証明できたことは、今後にも繋がる自信となりました。

その一方で、あらためて「グリーン」×「デジタル」×「レジリエント」な未来に向けて、業界をリードする環境先進企業として自ら掲げた『エコ・ファーストの約束』への取り組みや、エコアクション21のガイドラインに則った実践を着実に継続していくことのむずかしさを痛感するとともに、その取り組みに対する重要性和責任を感じた1年となりました。

最後になりますが、今年の夏には念願だった太陽光発電設備(ソーラーカーポート)を導入予定で、自社消費電力を自家発電による再エネで賄う環境が実現します。社員には、カーボンニュートラルの実現に向けて、2023年度も引き続きエコアクション21のガイドラインに則った実践し、社内におけるPDCAサイクルをしっかりと回して、実効性が確保された「脱炭素経営」を目指し取り組んでいくことを確認・指示をいたしました。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

2023年4月29日
代表取締役社長 藤岡徹也

16. 私たちが実現したい「みらいビジョン」



私たちが実現したい「みらいビジョン」

～“Beloved Company”(愛される会社)～